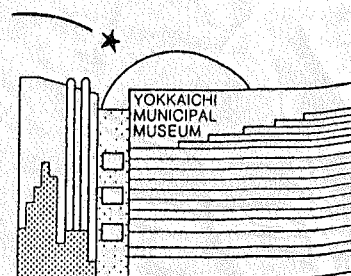


平成6年度

■ 年 報 ■

第2号



 四日市市立博物館

四 日 市 市 民 憲 章

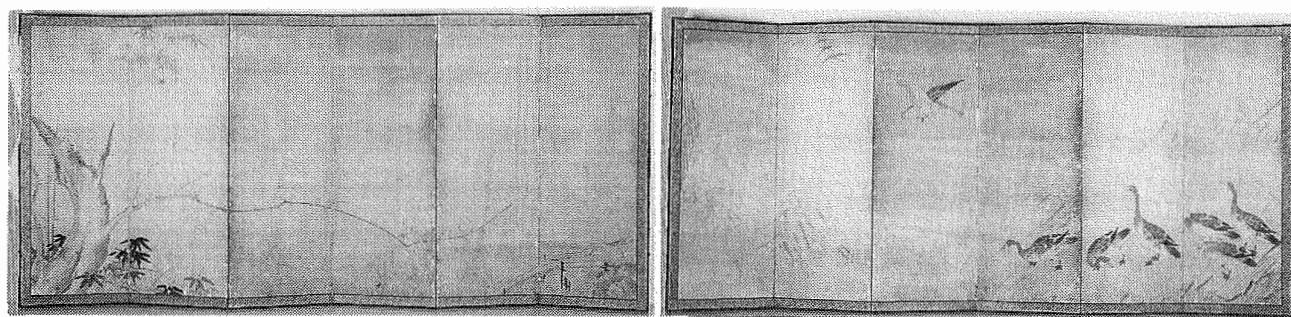
私たちの四日市は、西に鈴鹿山脈、東に伊勢湾を望むすばらしい自然に恵まれ、古くから「市」が開かれたまちとして、また、東海道の宿場として栄えてきました。この自然と歴史のうえに近代産業が開花し、世界に広がる港とともに、明日に向かって躍進する都市です。

私たちは、四日市市民であることに誇りと責任をもち、豊かな未来と住みよい郷土を築くため、次のことを誓います。

1. 自然を愛し緑と水のきれいなまちをつくります。
1. やさしい心のかよひ合う温かいまちをつくります。
1. きまりを守り楽しく明るいまちをつくります。
1. 伝統を生かし文化の香りのたかいまちをつくります。
1. 産業を育て活気あふれるまちをつくります。

(昭和1574年 8月1日制定)

老梅図・芦雁図屏風



作者不詳 江戸時代前期 六曲一双

大きさ＝各隻 156.5×335.6cm〔画面〕

材質＝紙本墨画金泥

画面全体に薄く金泥を掃き、左側の屏風には白梅の老木・竹・溪流を、右側には芦雁をいずれも水墨で描いている。印章も署名もなく、作者を特定することはできないが、不自然なほど長い枝や幹を湾曲させた梅の老木の表現が、安土城や大徳寺のふすま絵で有名な狩野永徳の様式を感じさせる。おそらく彼の作風にならった狩野派の絵師の作品と思われ、都の文化を伝える貴重な作品といえる。

本館が開館し1年半が経過しました。すでに特別展3回・企画展5回を開催し、併設するプラネタリウムを合わせると約230,000人の来館者を迎え、市内外のいろいろな人々からご好評をいただいております。本館の事業や活動が軌道に乗り、生涯学習の時代を背景にして市民一人ひとりの学習の場となるには、まだまだ時間が必要かと思われませんが、ひとまず今後の発展への基礎固めができてきたのではないかと考えております。

博物館には種々の機能や事業があることはご承知のとおりです。特別展等の開催、調査研究、教育普及、資料の収集保存、管理運営等の各事業が来館者や市民の方々の期待感を裏切らないよう常にその知的ニーズに意を払いながら、有機的に絡み合い展開されていけば、博物館の設置目的は達成されたことになるのでしょうか、まだまだ博物館といえば一般の人々には縁の薄い施設であり、「博物館行き」といった言葉があるように古くて不用になった珍しい物が並べられているといった、かび臭いイメージがあるのが現状ではないでしょうか。

したがって、従来からのこういったイメージを変えたい——これが本館の運営方針の一つでもあります。幸いにも本館には“駅前博物館”のキャッチフレーズのとおりに他館には無い恵まれた立地条件や周辺環境がありますので、各事業に有効に活かしながら構えずに気楽に入れる雰囲気形成するなど各事業の充実と施設の開放を基本にした「見せる博物館」から「魅せる博物館」への運営方針の確立に今後も努力していきたいと考えております。

本書は「ヨチヨチ」歩きを始めた本館の平成6年度の事業の報告書ですが、その事業の一つ一つに従来イメージの払拭の願いを込めて、柔軟な発想に基づく斬新な幅広い活動をめざしてきました。本書を通じて本館の運営にご理解とご協力を賜りました関係各位にお礼を申し上げるとともに、市民文化の拠点施設として愛され、親しまれ、市民生活に身近な博物館とするため、今後ともご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。

目 次

館蔵資料紹介 I

年報発刊にあたって

目次

I. 事業概要

1. 常設展示	1
2. 特別展等展示	6
3. 教育普及活動	16
4. 資料収集保存活動	24
5. 調査研究活動	27
6. プラネタリウム事業	27

II. 管理・運営

1. 組織	33
2. 予算	34
3. 博物館協議会	35
4. 利用状況	36
5. 関係法規	39

III. 施設概要

42

IV. 利用案内

45

V. 博物館日誌抄

46

I. 事業概要

1. 常設展示

当館の常設展示はその基本テーマを「伊勢湾（うみ）と鈴鹿山脈（やま）のある四日市の文化と生活環境」として、地質時代から現代に至る“四日市のあゆみ”をその時代ごとの特色を生かし、テーマ1～テーマ6にわけて2階・3階をその展示スペースとしている。

〔基本テーマの設定にあって〕

かつて、白砂青松の、おだやかで波静かな内浦の伊勢湾、市街地の喧騒から逃れると、のどかな田園風景が広がりを見せる山ふところ、清流の奏でるやさしい調べと、可憐な植物が美を競う鈴鹿山脈……。

東の伊勢湾から、西の鈴鹿の山なみまで、温暖な気候と多様な風土に恵まれた四日市は、それだけに海に、山に、野に、さまざまな生活があり、この土地になじんだ、この土地ならではの歴史と文化が顔をのぞかせている。

現在、四日市は、197.33km²の市域面積に、286,000人の市民が働き・学び・憩い・住う、三重県最大の都市であり、また中部圏の中核都市のひとつとして発展を続けているが、編まれた歴史をひもとくと、人びとの営みは古く旧石器時代にさかのぼることができる。

山麓にけものを追ひ、低湿地を開拓し、内浦に海の幸を求めた原始・古代の時代から、定期的に市が開かれ、湊が湾内の水運に重要な役割を果たした中世、東海道の宿駅と伊勢参宮道の分岐点として賑い、東西交通の要衝の地であった近世、地場産業はもとより近代産業が飛躍的に発展を遂げた近代、そして、戦後の復興から全国有数の工業都市となった現代まで、そのあゆみはとぎれることなく連綿と続いている。

このように、いつの時代にあっても、人びとの営みに大きな影響を与えたのは、大地が創りあげた伊勢湾と鈴鹿山脈であるといっても過言ではない。

一方、四日市は、戦後はやく石油化学コンビナートが形成され、工業都市として発展したが、その過程で大気汚染という深刻な公害問題に直面した。今日では、官民一体の努力によって、大幅に環境の改善が図られ、その苦い経験を生かし、さらに環境を重視した都市づくりを進めている。

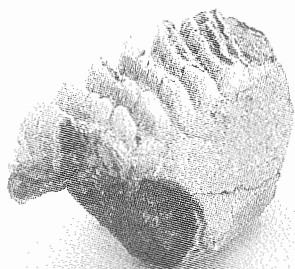
こうしたことから、この地域の過去の再現し、現在を見直し、明日を創るための一翼をになう存在として四日市市立博物館は基本テーマを「伊勢湾（うみ）と鈴鹿山脈（やま）のある四日市の文化と生活環境」とした。

各テーマのスペースでは、そのテーマのメインとなる展示とその他の詳細な展示に分け、展示資料に応じて実物や複製品、情景模型のほか映像や図表などで表現している。また、3階入口付近の映像コーナー「サルビアシアター」では、12面マルチスクリーンを利用して映像で四日市のあゆみを紹介するとともに、ハイビジョン映像により、「広重の描いた四日市」「浮世絵で見る四日市」などを投映し、また2階コーナー展示では、東海道の宿駅として賑わった四日市の浮世絵と、戦前の四日市祭りの山車や練り物を模型と映像で紹介している。

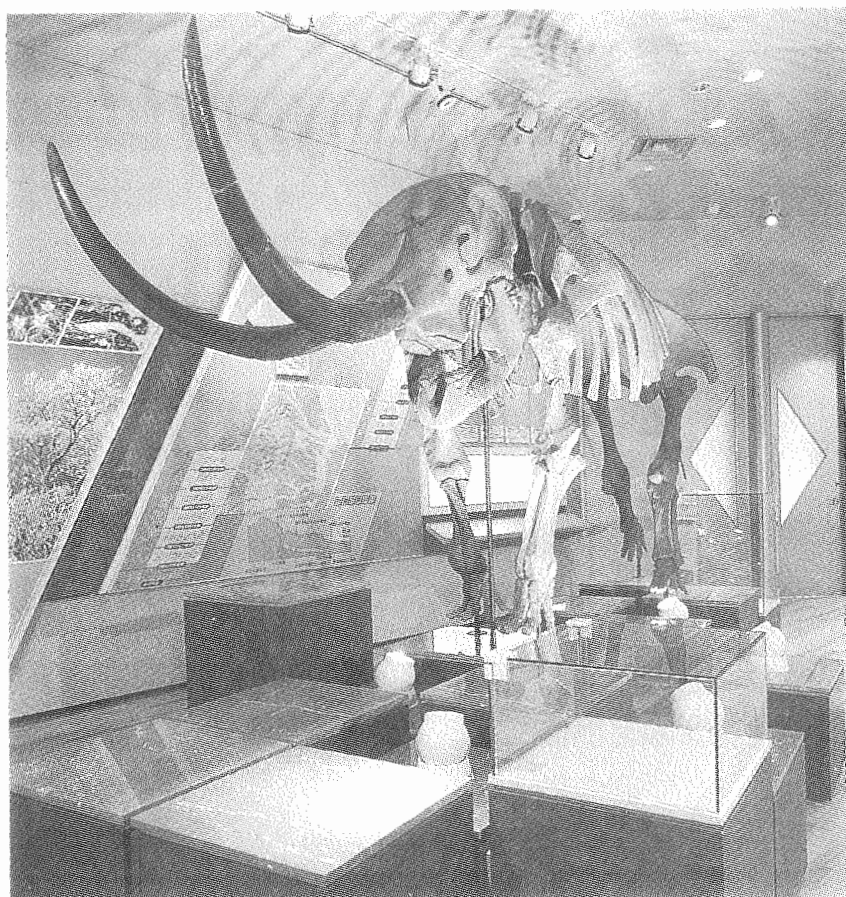
博物館常設展示／2・3階

テーマ
1北勢地域のおいたちと
自然環境

四日市の東に伊勢湾が、西に鈴鹿山脈がっなり、海から山まで1,200mに及ぶ標高差と地形・地質の違いに加えて、季節による気象の変化にも富んでいるので、多様な自然環境が生み出された。さらに、地理的に南方・北方の環境要素が交錯するところにあたるので、生き物の種類も大変多い。四日市を中心とする北勢地域は、豊かな自然環境がもたらす恵みによってなっている。



アケボノゾウの臼歯

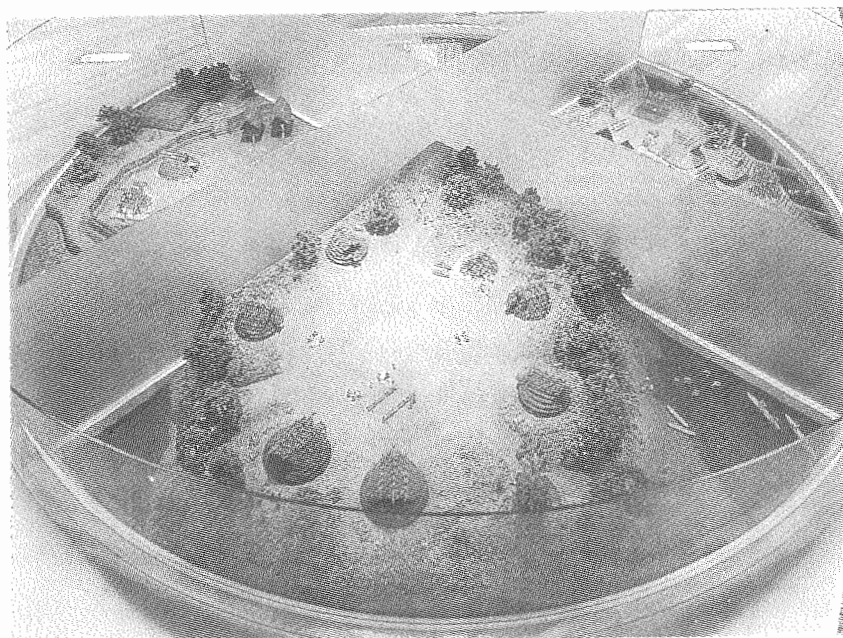


アケボノゾウの復元模型

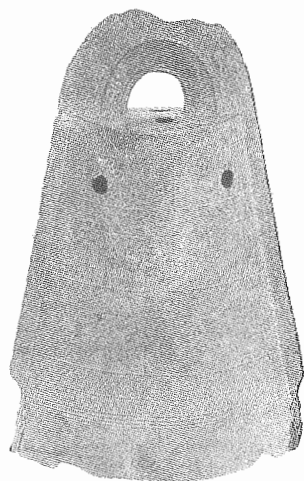
テーマ
2

原始・古代の人びとの生活

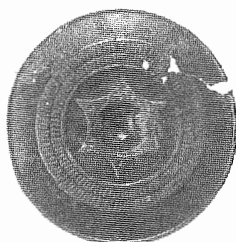
石器が貴重な生活用具だった旧石器時代から初めて土器をつくり、堅穴住居に住むようになった縄文時代。そして大陸から米づくりがもたらされた弥生時代。権力者の前方後円墳、有力な家族の群集墳などが築造された古墳時代。さらに中央集権体制が整えられた奈良時代…。四日市にも何万年も前から人びとが暮らし、今日の基礎を築いてきた。その時代の様子は遺跡や遺物など埋蔵文化財で知ることができる。



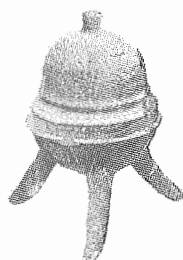
縄文・弥生など4時代を復元したジオラマ



銅 鐸



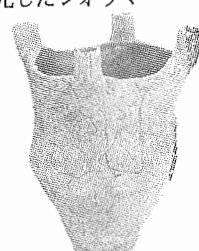
内行花文鏡



有蓋三足壺



高 坏

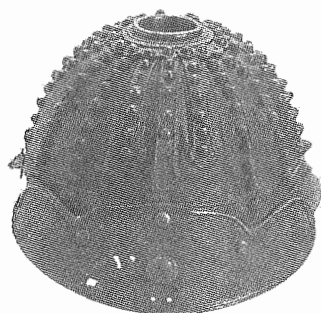


深 鉢

テーマ 3

四日市と四日市庭浦の成立

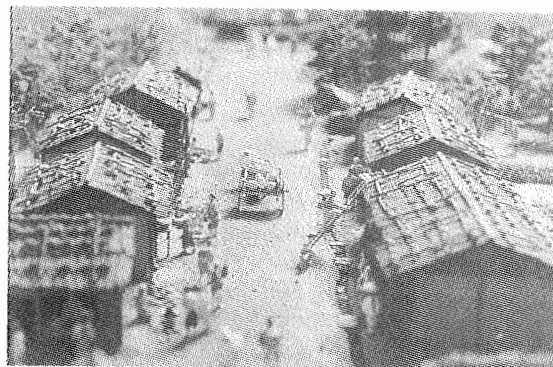
四日市を含む朝明・三重郡は、平安時代後期までに伊勢神宮へ寄進され「神郡」となった。平安末～鎌倉時代には、社寺の門前や宿駅・湊などに三斎市（月3回の市）が、南北朝～戦国時代には六斎市（月6回）が開かれた。四日市の地名は、文明5年（1473）の文章に「四日市庭浦」とあり、「四」のつく日（4.14.24日）に市が開かれたことによる。一方、当地は陸海交通の要衝の地にあり多くの武士が割拠し、商人たちが往来した。



十六間四方白星兜鉢
（鎌倉時代）



木造阿弥陀如来立像（鎌倉時代）

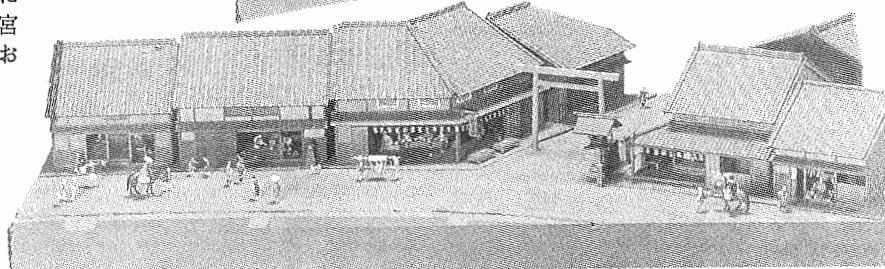


「四日の市」を復元したジオラマ

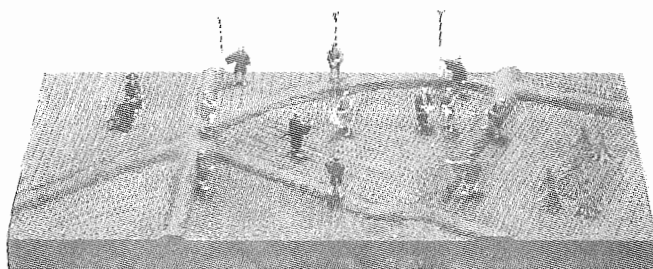
テーマ 4

東海道と伊勢参宮道の賑わい

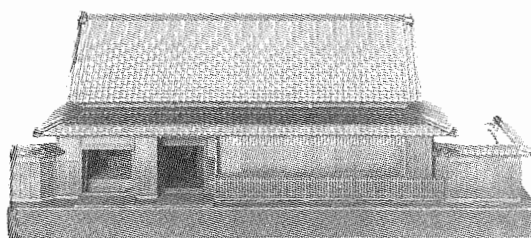
市域には、南北を結ぶ東海道・伊勢参宮道・巡見街道のほか、東西を結ぶ八風街道・千草道・菰野道があり、鈴鹿山脈を越えて近江への往来もさかんであった。また、四日市湊と尾張熱田の宮との間に廻船が就航（十里の渡し）したほか、沿岸の各湊へも多くの往来があった。このように、陸海交通の要衝だけに商工業が栄え、しきりに往来する旅人や参宮客などによって東西の文化交流もさかんにおこなわれた。



江戸時代の「日永の追分」を復元したジオラマ



検地の様子を再現した模型

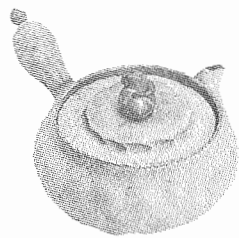


鈴木製薬所の模型

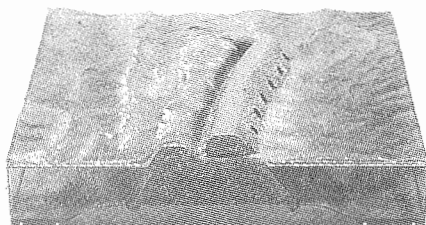
テーマ 5

四日市港と近代産業の発展

急速な近代化をめざす明治政府は富国強兵をスローガンに産業を奨励し、欧米諸国の文化や制度を積極的に取り入れた。市域においても稲葉三右衛門が私財を投じて行った港の修築が四日市の発展の基礎となり、製茶・製糸・紡績などの産業が活発になるきっかけとなった。こうして中世の市場から発展を続けてきた四日市は、こののち産業都市として大きく変化していくことになる。



手捻狸摘急須



潮吹堤防の構造

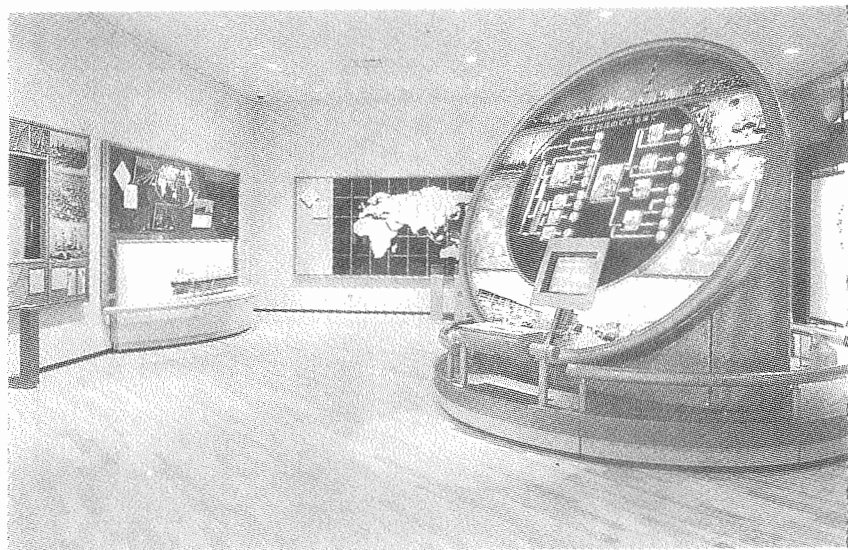


明治・大正時代を紹介した展示場内

テーマ 6

戦災からの復興と都市の創造

太平洋戦争の末期、四日市は9回にわたる空襲を受け、市街地は壊滅状態となった。そして、昭和20年（1945）8月15日終戦、昭和27年（1952）に、わが国は独立を回復し、経済も順調に発展するなか、四日市に日本で3番目の石油コンビナートが操業を始め、高度経済成長の一翼をになった。その間公害問題が発生したが、現在ではその公害を克服した経験を生かし、環境と人との調和をめざした新しいまちづくりが進められている。



戦後の四日市の歩みを紹介した展示場内



オイルタンカー模型（共栄丸）

サルビアシアター

12面マルチスクリーンを駆使して地球の生い
たちから現代までの四日市のあゆみをアニメ
を取り入れ楽しく分かりやすく常設展示の内
容を紹介している。大型画面いっぱいに繊細
な画質を楽しめるハイビジョン映像も可能で
オリジナル作品「浮世絵に見る四日市」「広
重が描いた四日市」の2番組を上映している。



サルビアシアター

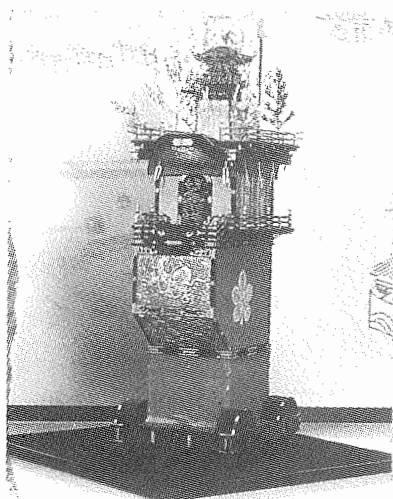
コーナー展示

四日市祭り

東海地方の三大祭りの一つに数えられた戦前
の祭りの様子を特徴的な山車の模型と、モニ
ターにより華麗な当時の祭りを再現している。

浮世絵の四日市

東海道五十三次の宿場町として栄えた四日市
は、浮世絵の作品として多くの作家に取り上
げられている。ここでは代表的な作品を間近
に鑑賞することができる。



浜田大山



コーナー展示

●平成6年度常設展示	開館日数	309日	観覧者数	38,881名
	観覧料	一般	210円	
		高・大学生	150円	
		小・中学生	100円	

2. 特別展等展示

開館2年目を迎え、1年を通して特別展等を企画・開催するのは初めての経験であったが、博物館事業を軌道に乗せるべく、また展示活動をその中心事業と位置づけることにより、恵まれた立地条件を十分に活かしながら、都心・商業地域という周辺環境とマッチした面白く楽しめる新しい感覚を取り入れ、特別展1回、企画展6回（共催展含む）を開催し、いずれも好評を得た。

(1) 企画展Ⅰ 「大地の贈りもの」 ～巨大原石と化石の世界～

- フランスのストラスブルグ科学芸術メセナ財団ほか所有する世界でも類を見ない巨大な原石や虫入りこはくを含む化石のコレクションを展示し、生物の進化や地球の壮大な営みを表現することによって、一般の方にも地球全般に対する興味と関心を高めてもらう。

- 期間：平成6年4月21日(休)
～6月14日(火) 49日間
(好評につき5月31日終了予定を延長した。)

- 後援：フランス大使館

- 観覧料：一般 600円 高・大学生 400円
小・中学生 200円

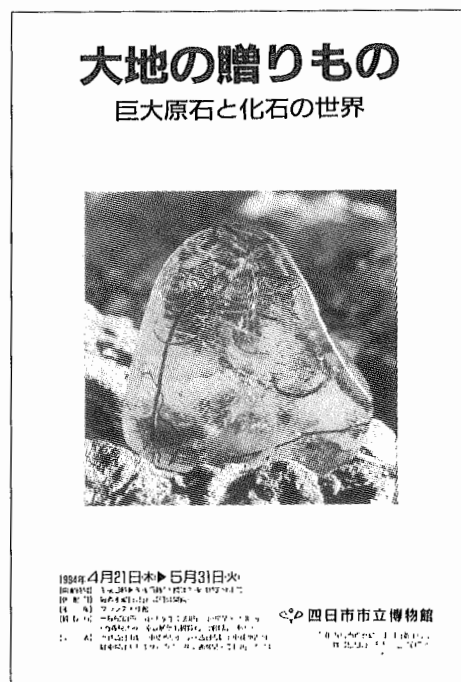
- 入場者数：12,888名

●主な展示資料

○巨大原石（9点）

- ・アメジスト 2,500kg 世界最大の原石標本
- ・アメジスト 320kg
- ・アメジスト 314kg
- ・アメジスト 248kg
- ・水晶 185kg
- ・ペグマタイト
- ・雲母

ほか



○原石(109点)

- ・自然金塊 1 kg
- ・自然金 結晶
- ・アクアマリン ブラジル産
- ・ルビー ミャンマー産
- ・緑色の電気石 ブラジル産
- ・紅電気石 カリフォルニア州パラ産
- ・黄銅鉱 イギリス産
- ・黄鉄鋼 スペイン産
- ・螢石 スペイン ペルベス産
- ・赤色螢石 アルプス産
- ・方鉛鉱 ドイツ産
- ・孔雀石 ザイール産
- ・アラゴナイト ボヘミア産
- ・石膏 モロッコ産
- ・菱マンガン鉱 南アフリカ産
- ・輝安鉱 日本産
- ・赤鉄鉱 フランス産
- ・ガーネット ラオン・レタップ産 ほか

○こはく(74点)

- ・虫入りこはく 24点 顕微鏡24台にセット
- ・こはく 50点 工芸品を含む

○化石(48点)

- ・エビ バイエレン産
- ・アンモナイト
- ・亀 ネブラスカ産
- ・甲殻類 バイエレン産
- ・両生類 中国産
- ・カエル
- ・クサリヘビ アルデッシュ産
- ・翼手竜 バイエレン産
- ・トンボ
- ・三葉虫
- ・エイ ワイオミング産
- ・魚 Gyroptichus スコットランド産
- ・魚 Phareodus ワイオミング産
- ・鳥 プロヴァンス地方産
- ・カエデの葉 ほか

○絵入り石(13点)

- ・霧のたちこめた風景に見える石
- ・砂丘と砂嵐の風景に見える砂石
(二酸化マンガンの結晶による) ほか

○歴史資料(23点)

- ・アグリコラ著「デ・レ・メタリカ」2部
- ・アユイ著「結晶学」
- ・アウラ・スプテラネア
- ・鉱山で使われていた工具(16世紀) ほか

●展示品所蔵者

ストラスブルグ科学芸術メセナ財団 ライン上流県議会
 コルマール・ウンターリンデン博物館 シュツッツガルド自然史博物館
 エリック・アセルボーン氏 ほか



〈大地の贈りもの〉

(2) 企画展Ⅱ 「かたちのミュージアム」

- 「かたち」の研究や表現に取り組む研究者やアーティストが、星をテーマにつくり出す不思議な「かたち」と三重の地で育まれたふるさとの「かたち」に同時に触れることにより、共通の造形理念や美意識を感知、探究し、「かたち」を身近なものとする。

- 期間：平成6年7月16日(土)
～8月16日(火) 28日間

- 共催：基礎造形学会

- 観覧料：一般 600円 高・大学生 400円
小・中学生 200円

- 入場者数：3,611名

●関連行事

○プラネトーク（講演会）

5月3日(火) 14:30～16:30

四日市市立博物館プラネタリウムドーム

「星のかたち－科学と芸術からどうみえる」

講師：基礎造形学会会長 朝倉 直巳 氏

基礎造形学会三重大会実行委員長 松尾 光伸 氏

特別講師：宇宙開発事業団 毛利 衛 氏

参加者：130名

○記念講演会

7月16日(土) 10:30～12:00

(財)三重北勢地域地場産業振興センター6Fホール

「地域の伝統造形文化と現代デザインの基礎」

講師：日本民芸館館長 柳 宗理 氏

参加者：140名

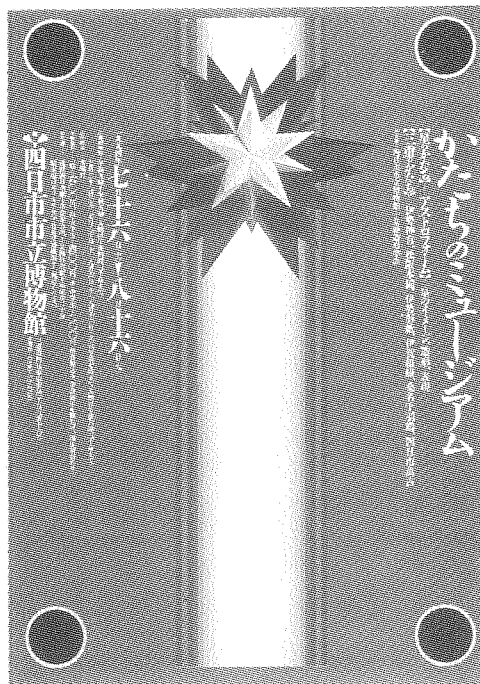
○連鶴折り方講習会

7月23日(土) 8月1日(日) ①10:00 ②14:00

四日市市立博物館1F講座室

講師：桑名市教育委員会 大塚 由良美 氏

参加者：102名



○伝統産業実演

会期中展示室内で伝統産業の実演を実施

- ・松阪木綿
- ・伊勢形紙
- ・伊賀組紐
- ・四日市萬古

なお、本企画展は日本芸術文化振興会の芸術文化振興基金の助成を受けた。

●主な展示資料

1. 星のかたち

(1) 星のイメージ

星をイメージさせるデザイン、絵画、文学等をコラージュによって表現 4点

(2) 星の造形

星形多面体による考察 5点

(3) 星の表現

光と動きをとまなう立体、映像作品 5点

(4) 星の表現

基礎造形学会員による星のイメージ作品 38点

2. 三重のかたち

(1) 伊勢神社・・・伊勢神社の木造建築における木組みの技法

解説パネル 写真パネル 鯉木〔神宮司庁蔵〕

(2) 松阪木綿・・・松阪木綿における縞模様のデザイン

解説パネル 織機 糸巻機 紡機〔松阪木綿振興会蔵〕

綿繰器 藍玉〔松阪市歴史民族資料館蔵〕 藍糸〔松阪もめん手織りセンター蔵〕

(3) 伊勢形紙

解説パネル 形地紙 形紙 道具 砥石〔伊勢形紙協同組合蔵〕

(4) 伊賀組紐

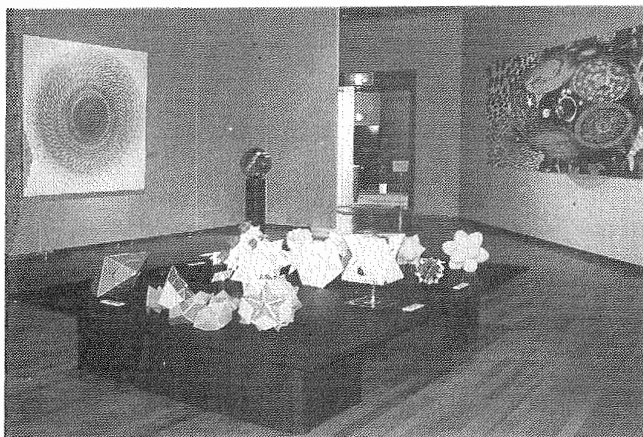
解説パネル 色糸 小杵 高台 丸台 綾書 組紐〔三重県組紐協同組合蔵〕

(5) 四日市萬古

解説パネル 木型〔塚山成月氏蔵〕 型萬古 5点〔四日市市立博物館蔵〕

(6) 桑名千羽鶴

解説パネル 連鶴作品〔大塚由良美氏蔵〕



＜かたちのミュージアム＞



＜連鶴折り方講習＞

(3) 企画展Ⅲ 「アメリカ人が見た浮世」

～スプリングフィールド美術館秘蔵浮世絵名品展～

- 米国マサチューセッツ州スプリングフィールド美術館には、歌川国芳のすぐれたコレクションがあることは、一部研究者には知られていた。しかし、1,500点近い浮世絵コレクションの中には国芳以外にも素晴らしい作品が含まれていることが、今回の調査で判明した。

これらの浮世絵コレクションは、弁護士レイモンド・ビッドウェルが大正から昭和にかけて米国で収集したもので、一括寄贈されたものである。そのコレクションの全容を伝えるべく、本展では第1部を国芳以外の絵師とし、さらにそれを①国芳以外の絵師、②国芳と同時代の絵師、③国芳以外の絵師に分けた。そして第2部を歌川国芳作品とし、第3部に肉筆浮世絵を置き、総点数299点（うち肉筆10点）に及ぶ作品群で構成した。これだけ大量な作品が海外へ出るのは初めてのことで、これらによって、アメリカ人が見た浮世感の一端を知ることができれば幸いである。

- 期間：平成6年9月1日(休)

～10月4日(火) 30日間

(9月21日(水) 版画全作品陳列替)

- 共催：中日新聞社 後援：アメリカ大使館

協力：日本航空

- 観覧料：一般 600円 高・大学生 400円

小・中学生 200円

- 入場者数：5,382名

- 関連行事

○記念講演会

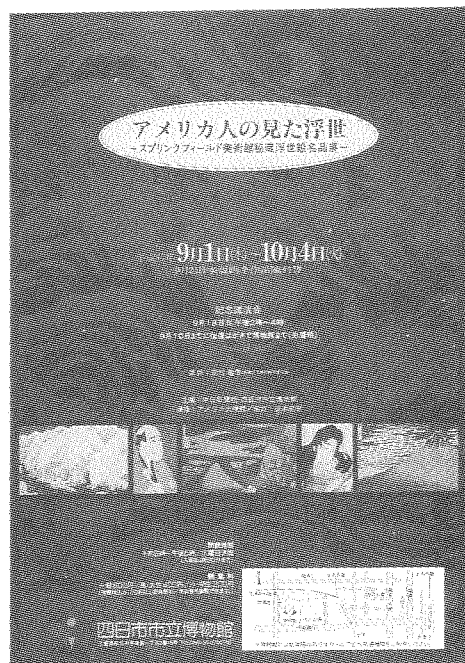
9月18日(日) 14:00～16:00

四日市市立博物館1F講座室

「ビッドウェルが集めた浮世絵について」

講師：板橋区立美術館学芸主査 安村 敏信 氏

参加者：65名



- 主な展示資料

1. 前期(9月1日～9月20日)

(1) 第1部(国芳以外の絵師)

- ・恋のつり舟 江口 奥村 政信
- ・五月雨 石川 豊信
- ・立美人図 懷月堂 安知
- ・風俗十二通意 汐干 鳥居 清長
- ・風流七小町 あふむ 鈴木 春信 他65点

(2) 第2部(国芳)

- ・東都名所 新吉原
- ・忠臣蔵十一段目夜討之圖
- ・近江の國の勇婦於兼用
- ・金魚に目高 ふぐに赤えい
- ・写絵を見る美人と子供 他56点

(3) 第3部(肉筆画) : 全期間

- | | | | |
|-----------|-------|----------|-------|
| ・月見る虎 | 魚屋 北溪 | ・櫛をさす美人 | 宮川 長春 |
| ・生け花をする美人 | 蹄斎 北馬 | ・品川 筑波の景 | 歌川 広重 |
| ・月見図 | 歌川 豊広 | | 他5点 |

2. 後期(9月22日~10月4日)

(1) 第1部(国芳以外の絵師)

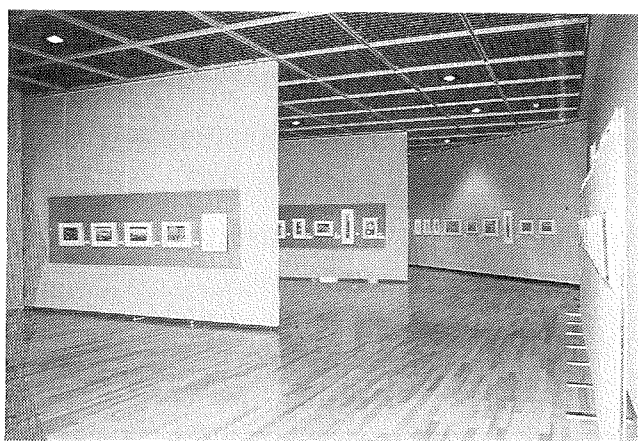
- | | |
|-----------|--------|
| ・もらい火 | 磯田 湖竜斎 |
| ・初代坂東三津五郎 | 勝川 春章 |
| ・初代尾上松助 | 一筆斎 文調 |
| ・三代目沢村宗十郎 | 勝川 春好 |
| ・蛤売り | 葛飾 北斎 |
| | 他66点 |

(2) 第2部(国芳)

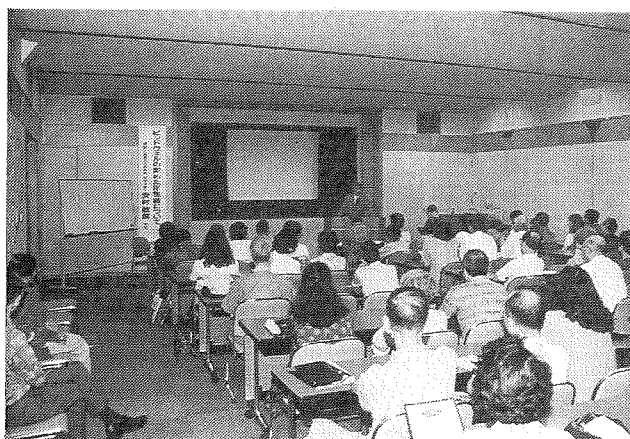
- | |
|-----------|
| ・東都名所 佃島 |
| ・鬼若丸と大緋鯉 |
| ・園中八撰花 撫子 |
| ・魚類画 亀と蟹 |
| ・八嶋浦蛙合戦 |
| 他52点 |

(3) 第3部(肉筆画) : 全期間

- | | |
|-----------|-------|
| ・花を活ける美人画 | 蹄斎 北馬 |
| ・月見二美人図 | 歌川 豊広 |
| ・髪をすく美人図 | 宮川 長春 |
| ・小野小町図 | 信勝 |
| ・月下虎図 | 魚屋 北溪 |
| | 他5点 |



＜アメリカ人が見た浮世＞



＜記念講演会＞

(4) 開館1周年記念特別展 「姿をあらわした神々」～神仏習合の歴史と美術～

●日本人の多くは、生まれるとまもなくお宮参りし、長じては神前やキリスト協会で結婚をする。死ぬと仏式で葬られて寺の過去帳に記載される。欧米人などからは異様とも思える日本人のこの宗教観はいったいどこから来ているのであろうか。我々の先祖は、自然界のあらゆるものに精霊をみとめ、信仰してきた。大陸から仏教がもたらされると、次第に皇室や中央・地方の豪族の間に定着していったが、その過程では、古来より広く信仰されてきた神祇信仰を利用しての布教がしばしばおこなわれた。それが神仏習合の最初の形態であった。この展覧会では、全く異なる宗教が、相争うのではなく、お互いに強調・補完しあっていく過程を主に平安時代までを中心として展示する。

●期間：平成6年10月22日(土)

～11月27日(日) 32日間

●観覧料：一般 900円 高・大学生 600円

小・中学生 300円

●入場者数：6,756名

●関連行事

○記念シンポジウム

10月23日(日) 13:00～16:00

四日市都ホテル朝明の間

「新発見された古代装飾刀剣“三寅剣”」

パネリスト：奈良大学学長 水野 正好 氏

奈良大学教授 井上 正 氏

奈良大学教授 西山 要一 氏

当館学芸員 堀越 光信

参加者：118名

○記念講座



	第 1 回	第 2 回	第 3 回
テーマ	神仏習合の歴史	神像の成立	神仏習合の一樣相
講 師	国学院大学教授 岡田 荘司 氏	武蔵野美術大学教授 田辺 三郎助 氏	慶応義塾大学名誉教授 西川 新次 氏
日 時	11月6日(日) 14:00～16:00	11月13日(日) 14:00～16:00	11月20日(日) 14:00～16:00
場 所	四日市市立博物館 1F 講座室		
参加者	78名	72名	81名

○学会公開講座

11月19日(日) 13:00～16:00 共催：宗教史研究会

四日市市立博物館 1 F 講座室

(代表 愛知学院大学教授 林 淳 氏)

「特別展によせて」

当館学芸員 堀越 光信

入場者：69名

「都藍尼説話の深層」

名古屋大学助教授 阿部 泰郎 氏

なお、本特別展は第9回国民文化祭・みえ94協賛事業とした。

●主な展示資料

- | | | | |
|--------------|-----------|--------------|--------|
| ・遮光器土偶 | 明治大学考古学博蔵 | ・山吹菊花蝶鳥文鏡 | 多度神社蔵 |
| ・内行花文鏡 | 宗像大社蔵 | ・木造多聞天立像 | 神宮寺蔵 |
| ・日本書記 巻第9 | 熱田神宮蔵 | ・線刻阿弥陀三尊鏡像 | 金剛証寺蔵 |
| ・誕生釈迦仏立像 | 正眼寺蔵 | ・大般若経（道行知識経） | 常楽寺蔵 |
| ・三寅剣 | 個人蔵 | ・近長谷寺資財帳 | 近長谷寺蔵 |
| ・金銅藤原道長経筒 | 金峯山神社蔵 | ・木造男神坐像（壮年像） | 松尾大社蔵 |
| ・御堂関白記 寛弘四年下 | 陽明文庫蔵 | ・木造聖徳太子立像 | 元興寺蔵 |
| ・木造僧形八幡神坐像 | 薬師寺蔵 | ・木造男神立像 | 伊豆山神社蔵 |
| ・僧形八幡神影向図 | 仁和寺蔵 | ・木造行教律師坐像 | 神応寺蔵 |
| ・木造薬師如来立像 | 薬園寺蔵 | | |
| ・木造万巻上人坐像 | 箱根神社蔵 | | |
- 他84点
- （うち国宝6件16点、重要文化財31件56点）



＜姿をあらわした神々＞



＜シンポジウム＞

(5) 企画展Ⅴ「紅とおしろい」 ～江戸の化粧～

●化粧の歴史は古く、その起源は人類の発生とともにあるといわれている。わが国においても古代より化粧が行われてきたが、特に江戸時代は現在にみられる女性の化粧を基本的に確立させた時代といえる。しかし、この時代は一面では儒学の教えに基づく制約の多い社会でもあった。そのような中で女性たちは美を求める心を失うことなく、さまざまな化粧法を考えだした。

江戸時代の女性たちが、どのような道具をもちいて、どのような化粧をおこなっていたのかをさまざまな化粧道具、浮世絵などによって、当時の美意識とともに探る。

●期間：平成7年2月11日(土)
～3月21日(火) 34日間

●協力：ポーラ文化研究所

●観覧料：一般 600円 高・大学生 400円
小・中学生 200円

●入場者：2,933名

●関連行事

○記念講演会

3月5日(日) 14:00～15:30

四日市市立博物館 1F 講座室

「江戸時代の化粧と伊勢おしろい」

講師：戸板女子短期大学講師 高橋 雅夫 氏

参加者：80名

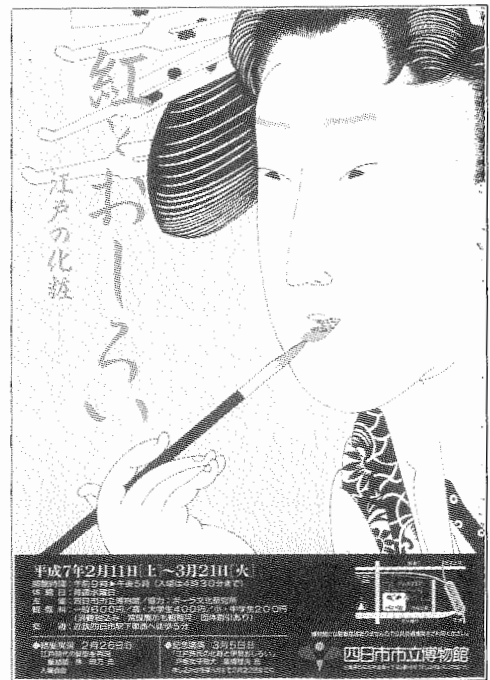
○髪結実演・・・江戸時代の髪形を再現

2月26日(日) 14:00～15:00

四日市市立博物館 1F 講座室

髪結師 林 照乃 氏 モデル 伊藤 恭子さん・佐野 真理さん(市内から公募)

参加者：200名

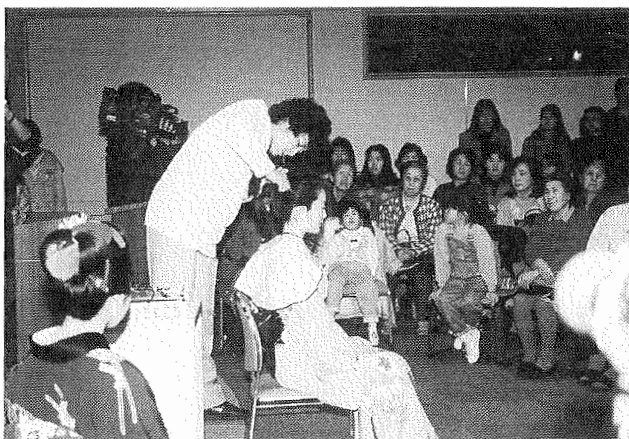


●主な展示資料

- | | | | |
|----------------|-----------|---------------|----------|
| ・木製花唐草模様蒔絵紅板 | ポーラ文化研究所蔵 | ・在原業平東下り模様蒔絵櫛 | 堀部 美行蔵 |
| ・金属製煙草入れ形紅板、紅筆 | 〃 | ・山水模様金蒔絵べっ甲櫛 | 〃 |
| ・松鶴模様伊万里染付紅猪口 | 〃 | ・白紬子地梅樹模様絞縫小袖 | 国立歴史民族博蔵 |
| ・橘唐草紋散蒔絵婚礼化粧道具 | 〃 | ・美人結髪図 一勇斎国芳 | たばこと塩の博蔵 |
| ・寿文字入白粉三段重 | 〃 | ・時世六佳撰 溪斎英泉 | かめやま美術館蔵 |
| ・白粉 | 高橋 雅夫蔵 | | 他192点 |



＜紅とおしろい＞



＜結髪実演＞

(6) 企画展Ⅵ 「ゴッホと忠臣蔵浮世絵展」〔共催展〕

●日本に憧れ、400点もの浮世絵を集めたゴッホ。彼のコレクションの中には、忠臣蔵の浮世絵や三重県の浮世絵があった。この展覧会では、マネ、モネなどの印象派の画家やガレ、ラリック、ティファニーなどの工芸家たちに愛された浮世絵を通じて、忠臣蔵やゴッホが憧れた世界を紹介するとともに、三重に関する浮世絵も展示する。

●期間：平成6年12月15日(木)
～平成7年1月17日(火) 25日間

●主催：京都浮世絵文化の会

●共催：四日市市立博物館

協力：浮世絵・日本文化研究会

後援：四日市市・三重県教育委員会

●観覧料：一般 500円 高・大学生 300円
小・中学生 200円

●入場者数：1,639名

●関連行事

○講演会 12月17日(土) 14:00～15:30 四日市市立博物館 1F 講座室

「東海道五十三次の謎」

講師：京都浮世絵文化の会代表 斎藤 彰 氏 参加者：60名



(7) その他の展示

1 F エントランスホールは誰でも入れる自由空間としているが、当館のイメージをつくる重要なスペースと考えている。従ってその理由方法についても周辺の商業施設のディスプレイ等を研究しながら館内に季節感を演出したり、開催予定の特別展等の予告宣伝を目的に、館蔵資料を利用しながら、ミニ展示を実施した。

7月	「薬師三尊像」(三重郡菰野町正眼寺蔵)
8月	「戦争とくらし」
9月～10月	「あかりの文化小史」

3. 教育普及活動

市民の学習意欲を向上させていくことは博物館事業の大きな目的の1つであり、市民生活に関わった博物館づくりをめざし、各種の普及行事を企画してきた。今後もその定着化に向け努力するとともに、より市民に親しまれる博物館とするために、市民の知的ニーズを的確にとらえた新しい行事の展開及び内容の充実を図っていく必要がある。

(1) 開館1周年記念講演会

○11月3日(木) 13:00～15:00

四日市都ホテル4 F 伊勢の間

「日本の心」

講師：法相宗大本山薬師寺管主 高田 好胤 氏

参加者：400名



<開館1周年記念講演会>

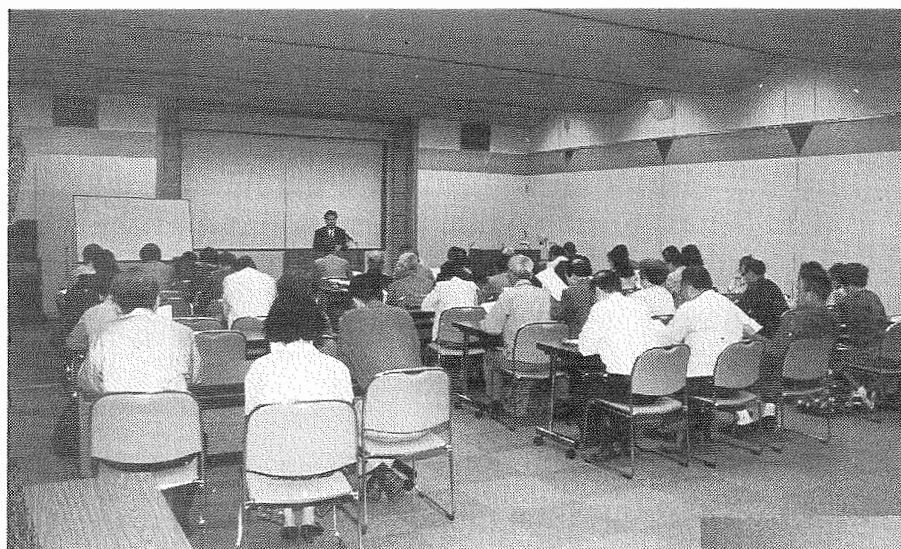
(2) 博物館講座

①「古文書」講座(入門編)・・・くずし字を読むことを目的として、干支、年号、単位などを覚えながら古文書を読んでいく講座。 無料

5月26日(木)から第2・第4木曜日 14:00～17:00

平成7年3月末まで20回 定員40名 1 F 講座室

講師：当館学芸員 広瀬 毅



＜古文書講座＞

- ②「まつりの世界」・・・・・・・・・・本年三重県で開催される「まつり博」にちなんで「まつり」をいろいろな角度からとらえ、その本質に迫る。

定員60名 14:00～16:00 1F講座室 無料

月 日	テーマ・内容	講 師
6月19日(日)	四日市のまつり	当館学芸員 東條 寛
6月26日(日)	神のまつり	〃 秦 昌弘
7月3日(日)	古代のまつりといのり	奈良大学学長 水野 正好氏
7月17日(日)	三重のまつりがおもしろい	三重大学教授 目崎 茂和氏
7月24日(日)	京（みやこ）の祭・地方の祭	当館館長 上井 久義
7月31日(日)	まつりと芸能	立命館大学講師 植木 行宣氏

- ③「ほとけの世界」・・・・・・・・・・仏教を開いたのは釈迦であることは、ほとんどの人が知っているが、釈迦のことをどれだけ知っているのか。また仏教では悪いことをしたら地獄に落ちるといわれているが、奪衣婆とは？この講座はよく耳にしながら意外に知らない「ほとけの世界」を3つのテーマで紹介する。

定員60名 14:00～16:00 1F講座室 無料

講師：当館学芸員 田中 伸一



＜ほとけの世界＞

月 日	テーマ・内容
1月21日(土)	釈迦の世界
2月4日(土)	地獄の世界
2月18日(土)	極楽の世界

(3) 夏休み子供博物館

夏休み中の小中学生を対象にして郷土史などの学習、自由研究に学芸員がアドバイスを行った。

○8月8日(月)～12日(金) 9:00～17:00 1F 講座室及び天文学習室 無料

また、特に自然分野については、四日市自然保護推進委員会と共催で「動物・植物の名前を教える会」を開催した。

○8月28日(日) 9:00～17:00 1F 講座室 無料

(4) 博物館実習

博物館学芸員資格に必要な博物館実習課程履修のため、各大学から要請のあった実習生の受入れを実施し、博物館実務を演習させた。

○7月27日(水)～30日(土) 4日間 9:00～16:00

受入れ実習生 12名

〔日程〕

	月日	午前(9:00～12:00)	午後(13:00～16:00)
1	27日 (水)	学芸員論 博物館法・文化財保護法と博物館	博物館施設見学
2	28日 (木)	民俗資料の収集と整理 取扱いの実務	教育普及活動・広報活動
3	29日 (金)	歴史資料の収集と整理 取扱いの実務 自然資料の収集と整理 取扱いの実務	博物館資料の写真撮影
4	30日 (土)	美術工芸資料の取扱い	共同討議・レポート作成 「博物館と学芸員のあり方」

(5) 三重県移動博物館

主催：三重県博物館協会

尾鷲市

尾鷲教育委員会

後援：三重県教育委員会

期間：11月18日(金)～20日(日)

(9:00～12:00)

場所：尾鷲市体育文化会館

出品資料：阿弥陀如来立像1軀

胎内文書3通願文1通

作善日誌1通

摺仏1通

ビデオ

「みんなの夢がここから始まる」



＜三重県移動博物館＞

(6) 入館者調査

今後の博物館運営等に資するため、各企画展ごとに「入館者アンケート」を実施し、入館者の情報分析を行った。

●アンケート内容

本日は四日市市立博物館にお越しいただきましてありがとうございます。
博物館を良くするためみなさまからご意見を伺いたいと思いますので、
アンケートにご協力ください。
なお、このアンケートは企画展[]についてお答えください。

◇あなたの性別は。
男性 女性

◇あなたの年齢は。
10代未満 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上

◇どちらからお越しいただきましたか。
四日市市 県内（北勢、中勢、南勢志摩、紀伊、伊賀 市、町、村）
三重郡 県外（愛知、岐阜、滋賀、奈良 市、町、村）

◇博物館（四日市）へは何を使ってお越しいただきましたか。〔主なものをひとつ〕
徒歩 じてんしゃ バス 電車（近鉄、JR） 自動車 オートバイ

◇何をご覧になるためお越しいただきましたか。〔いくつでも〕
企画展 常設展 プラネタリウム 何かのついで その他（ ）

◇この展覧会を何でお知りになりましたか。〔いくつでも〕
新聞 テレビ ラジオ 広報 ポスター・チラシ 人から 雑誌（ ） その他（ ）

◇展覧会をご覧になって印象に残ったことは。（面白かったものや分からなかったことなど）

◇今後の展覧会について、ご要望がありましたらお教えてください。

◇博物館の観覧料金はいかがですか。
丁度良い 高い 安い _____ 円ぐらいが良い

◇博物館の開館時間（9時～17時）はどうですか。
今のままで良い
開館時間は _____ 時頃が良い 閉館時間は _____ 時頃が良い

◇その他、博物館についてご要望がございましたらご記入ください。

🌸 ご協力ありがとうございました。

●集計結果

企画展等名	アンケート実施期間	入館者数	回答総数	回収率	回答者率
大地の贈りもの 4/21～6/14	5/28～6/11	12,888名	763枚	76.3%	5.9%
かたちのミュージアム 7/16～8/16	8/5～8/16	3,611名	471枚	69.0%	13.0%
アメリカ人が見た浮世 9/1～10/4	9/30～10/4	5,382名	220枚	82.7%	4.1%
姿をあらわした神々 10/22～11/27	11/17～11/2	6,756名	771枚	77.1%	11.0%
紅とおしろい 2/11～3/21	3/9～3/21	2,933名	490枚	75.2%	16.7%

なお、来館者内訳や目的などアンケート項目ごとの集計については、調査研究活動のなかでいろいろな視点から詳細に分析し、調査結果として報告したいと考えている。

(7) 講師等派遣活動

地区市民センター等館外で行われる講演会等への講師派遣については、博物館活動と市民学習意欲とのパイプ役として業務に支障のない範囲で積極的に対応した。

館長	地区市民センター講演会講師
学芸員 東條 寛	関西大学非常勤講師（民俗学） 四日市大学非常勤講師
学芸員 堀越 光信	松阪大学非常勤講師（日本史）
天文係長 岸本 茂	暁短期大学星空教室講師

(8) 広報活動

企画展等をはじめとする各事業の広報は、市広報はもちろんのこと、「博物館ニュース」の発行、タウン誌、各報道機関への情報提供（記者発表・資料提供）、社会教育・学校教育機関、地区市民センターその他公共施設及び商業施設へのポスター・チラシの配付・掲示を中心に行ってきたが、今後も媒体・時期・場所等を十分研究し、効果的な活動を展開していきたい。

○博物館ニュースの発行

第3号	A4版	4P	500部	6月発行
第4号	A4版	4P	500部	10月発行
第5号	A4版	4P	500部	2月発行



<博物館ニュース>

(9) 施設の利用

本館の施設の利用については、四日市市立博物館条例第5条により特別展示室及び講座室について、博物館の設置目的に反しない、博物館事業に支障がないもので、市民の教育・学術及び文化の発展に寄与するものについて、商業宣伝・営業又はこれに類する目的以外の使用にその利用を許可している。今後も本館のキャッチフレーズである「駅前博物館」の特性を活かして、いつも何かがあり人が集まっており、市民の「観る・知る・創る・楽しむ」空間への期待感に応え、市民学習意欲や成果の発表の場として、無料利用である自由空間の1階エントランスホールも含め積極的に対応していきたいと考えている。6年度の利用実績は次のとおりであった。

〔特別展示室〕

6月23日(木)～28日(火) 「OQSパッチワークキルト展」

主催：OQSファイバーアートスクール

〔講座室〕

4月16日／ 5月21日／ 6月11日(土) 「歴史的知識講演会」

主催：歴史ゼミナール四日市

8月28日(日) 「正しい名前調べや観察のまとめ」 主催：四日市自然保護推進委員会

11月18日(金) 「女性問題講演会」 主催：四日市商工会議所婦人部

2月11日(土) 「仏教美術講演会」 主催：四日市文化会

その他公的機関の会議に利用された。また、学生への学習の場の提供として、適時開放した。

〔エントランスホール〕

12月15日(木)～21日(水) 「人権ポスター展」 主催：四日市市教育委員会

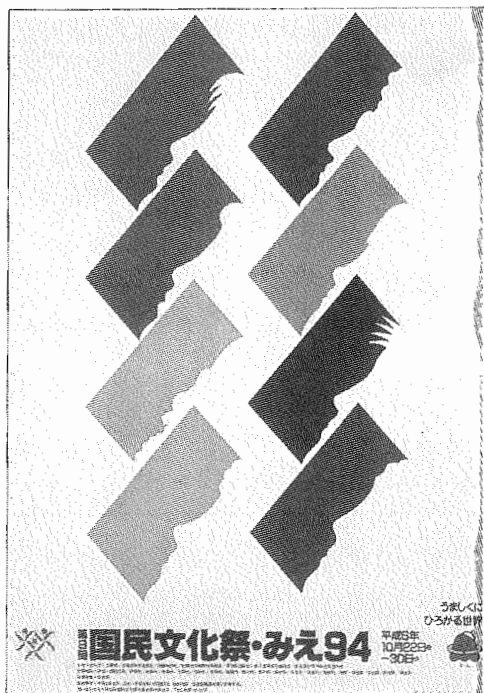
施設利用料	午前 9:00～12:00	午後 13:00～17:00	全日 9:00～17:00
特別展示室(4F) 595㎡	——	——	30,900円
講 座 室(1F) 142㎡	8,240円	12,360円	20,600円



＜人権ポスター展＞

なお、本年は急速に高まりつつある国民の文化活動への参加意欲に応え、1年に1回全国的規模の競演・交流・発表の舞台を設けることにより、新しい芸術文化の創造を目指すという全国レベルの文化イベントである「第9回国民文化祭・みえ94」が「うましくに、ひろがる世界」をテーマに10月22日(金)から30日(日)までの9日間にわたり県内13市町を会場に38事業及び記念2事業で開催された。本市においても市文化会館を中心にして「オーケストラの祭典」他4事業が開催され、本館では、期間中講座室・エントランスホール・情報コーナーを利用して「生活文化総合フェスティバル」

の「フラワーデザイン展（㈱日本フラワーデザイナー協会）」と「盆栽展（㈱日本盆栽協会）」が開催され、ミニ講習会の実施等愛好者だけに限らず幅広く多数の人が参加し、館内は大変賑わった。



＜国民文化祭総合ポスター＞



＜フラワーデザイン展＞

(10) ハイビジョンソフト共同制作事業

本市は平成4年11月に郵政省の「高度映像都市（ハイビジョンシティ）構想」モデル都市の指定を受けた。その構想を推進するにあたって課題であるソフトの充実に対応するため、「ハイビジョンシティ促進協議会」でハイビジョンソフトの共同制作参加都市を募り、少ない経費負担で高品質ソフトの作成するとともに、作成のノウハウ等を得ることを目的として実行委員会を組織した。この事業は平成5年度から開始され、本市は平成6年からこの共同制作に参加してきているが、平成5年11月の本館の開館とともに館施設としてハイビジョン上映装置を1階講座室及び3階常設展示室内サルビアシアターに設置した。

〔ハイビジョンシアターの開設〕

ハイビジョンはワイドできめ細かな画面、CD並みの優れた音質、豊かな臨場感がその主な特徴であるため、その視聴は感動的でもあり、博物館に親しんでもらう絶好の機会とするために、夏休み期間中の土曜日の開館時間延長にともない、ハイビジョンシアターを開設し、広く市民にハイビジョンの普及に努めた。

日時及び 上映番組	7月23日／30日／8月6日／13日／20日／27日(土)17：00～19：00 ①京都の四季 ②名古屋ZOOファミリー ③名古屋城障壁画 ④国宝源氏物語 ⑤ロストアニマルズ（いずれも約15分番組）
--------------	--

(1) 関連出版物

特別展等図録				
「大地の贈りもの」	A4版 77P	1,500部	6. 4.21	¥ 1,500
「かたちのミュージアム」	A4版 56P	2,000部	6. 7.16	¥ 800
「アメリカ人が見た浮世」	A4版 160P	1,000部	6. 9. 1	¥ 2,000
「姿をあらわした神々」	A4版 100P	2,500部	6.10.22	¥ 1,500
「紅とおしろい」	A4版 64P	1,000部	7. 2.11	¥ 1,000
館内案内パンフレット英語版 ・中国語版	A3版 6 折り	各 1,000部	7. 3.31	
年報第 1 号	A4版 36P	800部	6. 7.31	

(2) そ の 他

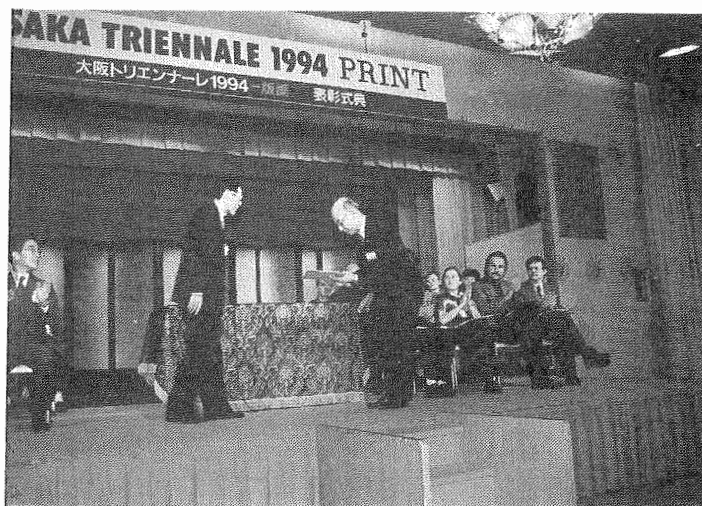
- ① 開館時間の延長・・・夏休み期間中の土曜日について、周辺商業施設の営業時間等を勘案し試行ではあるが、開館時間を 2 時間延長し来館者の期待に応えた。

- ② 特別展図録最優秀作品賞受賞・・・開館記念特別展「鯨・勇魚・くじら〜クジラをめぐる民族文化史」の図録が第 6 回「美術展カタログ」コンクール・大阪1994（主催：大阪府・（財）大阪府文化振興財団）において最優秀作品賞を受賞。



〔受賞理由から〕

自然誌的・民俗学的・博物学的といったさまざまな角度から多面的にとらえ極めて興味深いものである点とスマートなレイアウトデザインが評価された。



＜受賞式＞

4. 資料収集保存活動

博物館の諸活動の最も基本となる活動であることを認識し、公立博物館として四日市市に関連のある展示・研究資料の購入及び収集の充実を図り、その保存に努めた。

なお、収集資料上の専門事項について審議または指導・助言を行うため、「資料委員会」を設置している。

(1) 資料委員会の開催

開催日：7月27日(水) 議題：資料収集方針等について

〔四日市市立博物館資料委員会委員〕

◎委員長 ○副委員長（順不同・敬称略）平成7年3月末現在

◎上野 秀治	歴史	皇学館大学文学部教授
山沢 義貴	考古	三重県埋蔵文化財センター次長
○毛利 伊知郎	絵画	三重県立美術館学芸課長
井上 喜久男	工芸	愛知県陶磁資料館主任学芸員
茅原 弘	産業史	日本産業技術史学会会員
市橋 甫	自然	御在所ロープウェイ(株)役員
為永 辰郎	天文	三重大学教育学部教授
印南 敏秀	民俗	愛知大学教養学部教授

(2) 収蔵庫燻蒸 3月21日(火)～24日(金)

(3) 資料の状況

1 人文科学資料	区 分		実物	標本	模型 模写
	(1)	古 美 術	467	4	10
	(2)	近 代 美 術	377	0	0
	(3)	考 古 学	197	6	13
	(4)	民 俗	3,769	0	8
	(5)	民俗・人類学	0	0	0
	(6)	歴 史	2,121	0	37
	(7)	そ の 他	16	4	9
	計		6,931	14	77
	図 書		写 真		その他
	1,902		67		0

2 自然科学資料	区 分		標 本	模 型
	(1) 動 物		4	2
	(2) 植 物		0	0
	(3) 地 学		7	1
	(4) 理 工 学		0	0
	(5) 天 文		7	0
	(6) そ の 他		0	0
	計		18	3
	図 書		写 真	その他
174		16	0	

(4) 購入資料

分 類	名 称	形態等	分 類	名 称	形態等
歴・近代	引札 (呉服太物唐物類)	1 枚刷	民・近世	讃岐象頭山正祭頭騎 大略図	1 枚刷
歴・近代	三重県御巡行 御行列部	1 枚刷	歴・近世	旅行用心集	冊子
民・近代	日本国中御祭番付	1 枚刷	歴・近代	田村泰次郎草稿	11枚
歴・近世	日本無双16才の手形	1 枚刷	歴・近代	四日市鈴木薬局看板	3 枚
美・中世	鳥獣戯画卷	卷子レプリカ	歴・近世	水沢村大久保村水論 文書	10点
美・近代	瓢中快適図	軸レプリカ	歴・近世	水沢村地方文書	1 点
民・近代	山王御祭礼図	3 枚続き	歴・近世	大久保村地方文書	3 点
歴・近世	伊勢人物志	木版本	歴・近世	寺方村地方文書	1 点
歴・近世	藤堂家條目	写本	歴・近世	唐太騒動・江戸大火 書留	1 点
美・近世	東海道五拾参次之内 四日市鶯塚大八	浮世絵	美・近世	東海道五十三次亀山 (保永堂)	浮世絵 1 点
歴・近代	伊勢名所順路之図	1 枚刷	美・近世	東海道五十三次桑名 (保永堂)	浮世絵 1 点
歴・近代	伊勢名所順路之図	1 枚刷	美・近世	山水図(韓天寿)	掛幅 1
歴・近代	伊勢大神宮御宝之図	1 枚刷	民・近世	御迎敵人形図会	冊子
歴・近代	伊勢名所之図	1 枚刷	民・近世	摂州東成惣社生玉末 社正遷宮難波祇園社 砂持ち	浮世絵 2 点
歴・近世	伊勢人物志	版本			
歴・近世	江戸道中行程記旅人 要用記付録	冊子			
歴・近世	多羅尾家間雅口上	写			
歴・近代	関西鉄道会社案内図	一紙	歴・近世	東海道名所図会	揃 6 冊
美・近世	東海道 四日市	浮世絵	歴・近世	伊勢参宮名所図会	揃 8 冊
民・近世	羽前国鶴岡荘庄内神 社御祭礼行列之図	1 枚刷	民・近世	名古屋東照祭	1 冊
歴・近代	引札 タコと子供	1 枚刷	民・近世	山王祭	1 枚
民・近代	庄内神社御祭礼行列 之図	1 枚刷	民・近世	尾張津島祭之図	1 枚
歴・近代	引札 鶴と亀の暦	1 枚刷	歴・近世	職人歌合絵巻	1 巻
歴・近代	引札 日本国旗と暦	1 枚刷	歴・近世	畫図西遊譚	揃 5 冊
歴・近代	三重県管内明細全図	1 枚刷	美・近世	東海道五十三次関 (保永堂)	1 枚
歴・近代	伊勢みやけ名所画	1 枚刷	美・近世	東海道貼絵絵図屏風	六曲一双
歴・近世	一新講社道中案内	冊子	美・近世	青木夙夜松下美人図	1 幅
民・近代	伊勢太神宮御田祭図	1 枚刷	美・中世	仏眼仏母像レプリカ	1 幅
民・近世	伊勢古市踊之図	1 枚刷	美・中世	寒江独釣図レプリカ	1 幅
歴・近世	伊勢参宮道中記并二 阿保越・田丸越・伊 賀越・東海道大和巡 り高野諸里程之図	冊子	考 古	伊坂出土銅鐸レプリカ	1 点
			考 古	志氏神社出土銅鏡破 片レプリカ	5 点
			歴・近代	戦災写真 (米国公文書館)	20点
民・近代	豊歳祭行列図	卷子			

(5) 寄贈資料（受入順・敬称略）

資 料 名	数 量	寄 贈 者
日露戦争・太平洋戦争関係資料	36点	山 本 治 郎
船大工道具	33点	渡 部 義 勝
石取山車 車軸蓋及び金具	2点	横 山 利 與
老梅図・芦雁図屏風	六曲一双	九 鬼 喜久男
救護員手牒	1点	加 藤 静 枝
陸軍カバン・金属供出写真	4点	中 村 直
戦時災害証明書	1点	山 本 寿 生
二重板金水筒等	3点	中 上 多 平
陸軍騎兵指揮刀	1点	高 橋 正 守
軍服（上衣）	1点	寺 尾 美代子
ラジオ・菅笠・鉤など	4点	清 水 豊 実
セタ	1点	森 一 夫
出征祝の旗など	3点	今 村 修 司
支那事变国庫債券	1点	羽 津 たつ子
戦時中の雑誌	4点	赤 田 盛 弥
帝国陸軍使用の帯革	1点	坂 下 善 忠
20ミリ機関銃の薬莖	1点	中 上 多 平
寄せ書き日章旗など	2点	水 谷 敏 郎
陸軍食器など	20点	清 水 収 造
南満州鉄道社員證など	2点	川 瀬 史 郎
陸軍携帯天幕	1点	坂 下 善 忠
警防団鉄かぶとなど	16点	鈴 木 利 治
地球儀	1点	三 輪 勝 昭
四日市市民票 家庭用品購入通帳など	3点	原 さわ子
鯨船権現丸吹き流しなど	3点	伊 藤 義 和
古萬古写赤絵鶴丸文針など	2点	稲 垣 と志子
鯨船神徳丸鯨かぶり衣装など	13点	加 藤 淳 一
大日本帝国軍艦写真総覧など	206点	柴 田 重 道
陸軍観兵式明治天皇の写真など	6点	野 崎 広
戦時中のちらし 雑誌など	60点	柴 田 重 道
木印（生の字）	1点	伊 藤 カンナ
太神楽図（軸装）	1幅	池 田 昌 枝
動滑車	4点	田 中 利 武

(6) 資料貸出

貸 出 日	貸 出 先	目 的	資 料 名
7. 2. 20	大田区立郷土博物館	特別展図録 「明治時代の水産絵図」 (6/4~7/2)に掲載	捕鯨景況鯨体解剖及鯨猟具 一覧之図 ポジフィルム3点 (原資料御浜町教育委員会蔵)

(7) 特別利用

	熟覧	模写	拓本	撮影①	撮影②	計
利用件数	1件	1件	0件	6件	4件	12件
資料点数	1点	1点	0点	9点	14点	25点

撮影①：書籍・パンフレット等
への掲載

撮影②：映画・ビデオ・TV放
送等

5. 調査研究活動

博物館専門職員としての資質を高め、専門分野の学術的研究、また内容豊かな特別展等の開催に資するため、各種情報の収集に努めつつ、調査研究活動を行ってきたが、今後も常設展・特別展等の充実、専門分野での自己研鑽を図ることはもちろんのこと、他の博物館・研究機関、その他公共機関等の調査研究活動への協力、資料収集・展示等への技術的指導と援助、またいろいろな施設で開催される各種の講演会等への講師派遣などで成果還元を図ることを目的にして、館及び分野毎の共通テーマに基づいた年度毎の課題調査、学芸員個別の研究テーマによる調査、特別展・企画展に向けての事前調査を柱にして、博物館の諸活動を支える基礎的活動として活発に展開していきたいと考えている。

- 平成6年度調査研究テーマ 「富田の鯨船行事」〔学芸員 東條 寛〕
「神社・信仰」〔学芸員 秦 昌弘〕

●「研究紀要」第2号の発行

○規格：A4版 70P 1,000部 販売価格 ￥500

○内容：年中行事絵巻と騎馬の童	上井 久義
富田の鯨船行事について－研究ノートから	東條 寛
津藩城和領二一箇条について	広瀬 毅
四日市高等学校同窓会館所蔵資料目録(1)	秦 昌弘・森 昭宏

●他機関等での活動状況

学芸員 東條 寛	国立歴史民族博物館共同研究員・展示プロジェクト委員 三重県祭り行事調査員 三重県センター博物館（仮称）資料委員会委員
学芸員 堀越 光信	皇学館大学史料編さん所研究嘱託 上野市文化財調査員 伊賀町文化財調査委員
学芸員 広瀬 毅	三重県近代化遺産総合調査員

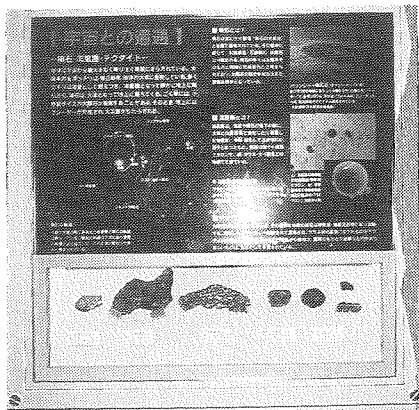
6. プラネタリウム事業

市民の科学する心を育み未来を考える場として、博物館の最上部分にプラネタリウムを設置しており、最新式機器と機能を使うことにより各季節の星座天体解説番組や本市のPR番組と迫力ある大型映像の全天周映画をセットで投映するとともに、天文教育普及活動では、天体観望会・子供天文教室をはじめ各種の行事を実施したが、市民の積極的な参加がみられ市民の天体・宇宙・星空への関心の深さがうかがわれた。

(1) 天文展示コーナー

テーマ展示を「宇宙観5000年の歴史」として、一般展示では「四季の星雲星団」などを取り上げ、古代より現代に至る宇宙観の歴史をグラフィックによりわかりやすく展示し、また、太陽系の惑星や星座などの天体写真、隕石の実物を展示している。さらに、パソコン、ビデオ、気象衛星「ひまわり」などの映像を自由に体験できるコーナーを設置している。

- ★パソコンで楽しむ星空ガイド「はじめての天文学」
- ★映像で楽しむ天文学「地球と宇宙」
- ★パソコン気象台「気象衛星ひまわりの情報」



＜天文展示コーナー・隕石の実物＞



＜プラネタリウム＞

(2) プラネタリウム投映活動

★一般投映

○投映期間：3月24日(木)～6月20日(月)

投映番組：プラネタリウム「地球物語～春の星座解説・神話と地球創造の話(45分)」

アストロビジョン「海と山のあるまち・よっかいち～市PR番組(5分)」

「フライヤーズ～空中スタントに命をかける二人の飛行機野郎物語(40分)」

投映期間：6月28日(火)～9月18日(日)

投映番組：プラネタリウム「月への挑戦～夏の星座解説・月をめざしたアメリカのアポロ計画の記録(45分)」

アストロビジョン「海と山のあるまち・よっかいち～市PR番組(5分)」

「フライヤーズ～空中スタントに命をかける二人の飛行機野郎物語(40分)」

投映期間：9月25日(日)～12月15日(木)

投映番組：プラネタリウム「太陽系の旅～秋の星座解説・宇宙船に乗り太陽系惑星を巡るSFアドベンチャー物語(40分)」

アストロビジョン「海と山のあるまち・よっかいち～市PR番組(5分)」

「フライヤーズ～空中スタントに命をかける二人の飛行機野郎物語(40分)」

投映期間：12月22日(木)～3月19日(月)

投映番組：プラネタリウム「銀河系の彼方へ～冬の星座解説・銀河系の紹介(45分)」

アストロビジョン「海と山のあるまち・よっかいち～市PR番組(5分)」

「フライヤーズ～空中スタントに命をかける二人の飛行機野郎物語(40分)」

○投映時刻（平日の午前中は学校・園の優先利用とし、投映番組も希望を受けた。）

	平 日	土、日曜日・祝日・学校長期休業中
第1回	学校・園利用(9:30/11:00)	10:30 アストロビジョン番組
第2回	13:00 プラネタリウム番組	13:00 プラネタリウム番組
第3回	14:30 アストロビジョン番組	10:30 アストロビジョン番組
第4回	16:00 プラネタリウム番組	10:30 プラネタリウム番組

*学校・園利用投映番組①プラネタリウム②アストロビジョン③幼児・小学校低学年向き
④小学校5年生向き（太陽と月）

*夏休み期間中の土曜日は18:00 からプラネタリウム番組を1回追加投映した。

○観覧者数

月	開館日数	投映回数	観覧者数	月	開館日数	投映回数	観覧者数
4月	26日	88回	3,206名	10月	27日	101回	3,060名
5月	28日	98回	4,763名	11月	25日	85回	2,922名
6月	25日	71回	2,783名	12月	24日	64回	1,536名
7月	27日	101回	4,700名	1月	25日	85回	2,155名
8月	26日	108回	7,400名	2月	24日	84回	1,957名
9月	26日	75回	2,645名	3月	26日	85回	1,839名
合計	開館日数：309回 投映回数：1,045回 観覧者数：38,966名						

★特別投映〔前売り制〕（いづれも好評で満席であった。）

①生解説付投映・・・当日の星空や最新の話題を折り込んでBGMとともに宇宙の神秘に迫る星空解説の特別番組。18:30～ ￥520
4月22日(金)・6月17日(金)・8月19日(金)
10月14日(金)・12月23日(金)・2月24日(金)

②星空CDコンサート 18:30～ ￥520

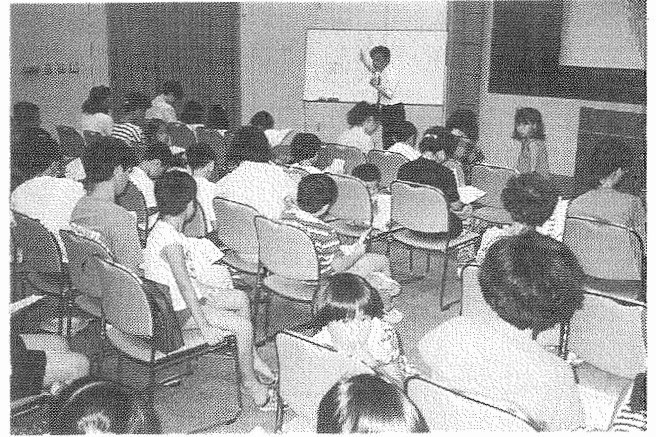
5月20日(金)「銀河鉄道の夜・車窓の星々」
6月10日(金)「時と星空・白鳥座から南十字星への星空の旅」
9月16日(金)「フォークソングと秋の星空」
12月24日(土)「X' マスミュージック & X' マスター」
3月3日(金)「春の足音・心浮き立つ音楽とひなまつりの星空」

③星空生演奏コンサート 18:30～ ￥900

6月10日(休)「織り姫・彦星・マリンバの調べ」
田嶋美希 & マリンバアンサンブル
1月13日(金)「冬の星座とハーブ & フルートの夕べ」
ハーブ：神谷 朝子（フリーハーピスト）
フルート：寺本 義明（名フィルハーモニー交響楽団）

④ 幼児・小学校低学年向き生解説番組投映・・・夏（春）休み期間中 10:30～11:15

期 間	内 容
3月30日～4日間	北斗七星の話
7月24日～4日間	七夕の話
8月7日～4日間	豪傑ヘルクレスの話
8月21日～4日間	こと座の話



〈子供天文教室〉

(3) 教育普及活動

天文知識の普及と啓発のため、各種の行事を実施した。

★天体観望会 5回

日時	19:00～	場 所	参加者
5月13日(金)		星 の 広 場	50名
7月16日(土)		市 民 公 園	242名
8月12日(金)		星 の 広 場	60名
9月2日(金)		博 物 館 屋 上	110名
2月3日(金)		博 物 館 屋 上	30名

★子供天文教室 5回

日時	19:00～	場 所	参加者
4月9日(土)			55名
7月28日(木)			75名
8月9日(火)		1F 講 座 室	183名
12月10日(土)			50名
2月11日(土)			82名

★天文講演会 3回

日 時	6月12日(日) 14:00	10月16日(日) 14:00	1月22日(日) 14:00
テーマ	太陽を科学する	オーロラの不思議	太陽観測と天文仲間
講 師	三重大学教授 為永 辰郎 氏	元名古屋科学館 山田 卓 氏	三重県立津高校教諭 鈴木 美好 氏
場 所	1F講座室	プラネタリウムドーム	1F講座室
参加者	70名	127名	50名

- ★天体写真撮影講習会 8月6日(土) 星の広場 参加者20名
- ★市民天体写真展 11月1日(火)～27日(日) 5F天文学習室 展示数 16点
- ★天文ミニ講座 夏休み期間中の日曜日と10月から第2・4日曜日 1日2回
 放映番組の紹介・ミニ解説とやさしい天文の話を実施 5F天文学習室

(4) 関連出版物

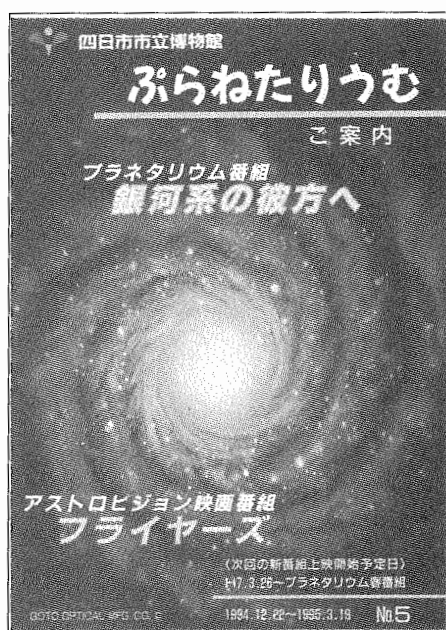
- ★プラネタリウム番組案内リーフレット No.3～No.6 A4版2折り 25,000部
- ★プラネタリウム番組紹介チラシ No.3～No.6 A4版 30,000部
- ★プラネタリウムポスター A2版 2,000枚



<案内リーフレットNo.3>



<案内リーフレットNo.4>



<案内リーフレットNo.5>

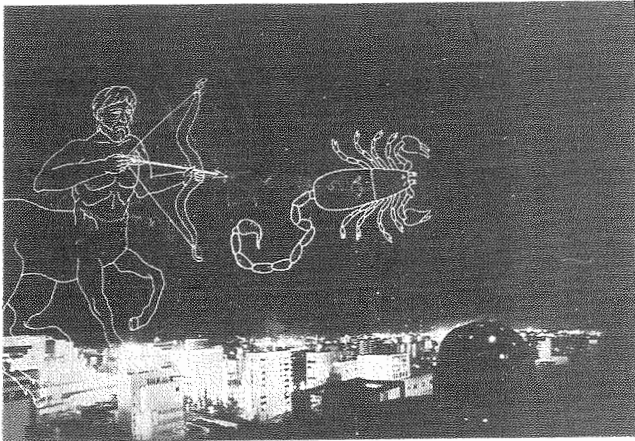


<番組紹介チラシNo.6>

(5) プラネタリウム番組検討委員会

プラネタリウム放映番組制作について検討し、指導または助言を行うため博物館に設置している。

委員数：10名 任期：1年 平成6年度開催回数：3回



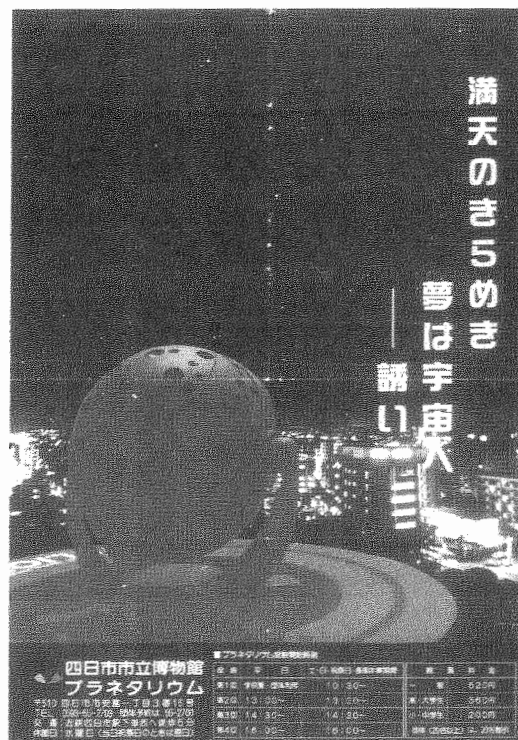
★★★入館者数5万人達成★★★

当初年間の入場者数を5万人と想定していたが、8月1日(月)予想より3カ月早い目標達成となった。「二人の子供に宇宙の神秘を教えたい。」と来館し、記念入館者となった本市浮橋の杉村澄志さんの家族4人に記念品として置き時計を贈呈した。

シューメーカー・レビー第9すい星と木星の衝突やスペースシャトルで宇宙に行った向井千秋さんの活躍などで、市民の宇宙への関心がますます高まっているのではないかと、プラネタリウム事業の今後の展開に大きな励みとなった。

(6) 移動天文車導入事業

教育普及活動における天体観望会への市民参加は着実に増加しており、市民の天文に対する興味・関心が高まってきている。こうした市民の関心の高さ及び期待感に対応するため、市内各所で広域的に天体観望会等の開催を可能にする移動天文車の導入について、教育委員会内部に「検討委員会」を設置した。検討委員会では、先進導入市である札幌・釧路・府中・仙台を対象にして運営実態調査を行うとともに、市内の小中学校及び地区市民センターを対象にして導入した場合の需要度についても調査検討を進め、報告書を作成した。その結果、先進導入都市での効果や子供を中心にして幅広く市民の夢に応えられ、市内での需要が充分期待できることから、平成7年度に車の製作を発注し、天体望遠鏡の操作や解説等を含めた運営ボランティアの方々の協力体制や、学校だけでなくPTA・子供会等市民の方々とも充分連携のとれた利用体制を確立しながら、市民に親しまれるよう、またPRを兼ね愛称を募集することにより、平成8年度6月完成・導入・夏休み稼働という導入計画のもと事業を推進した。

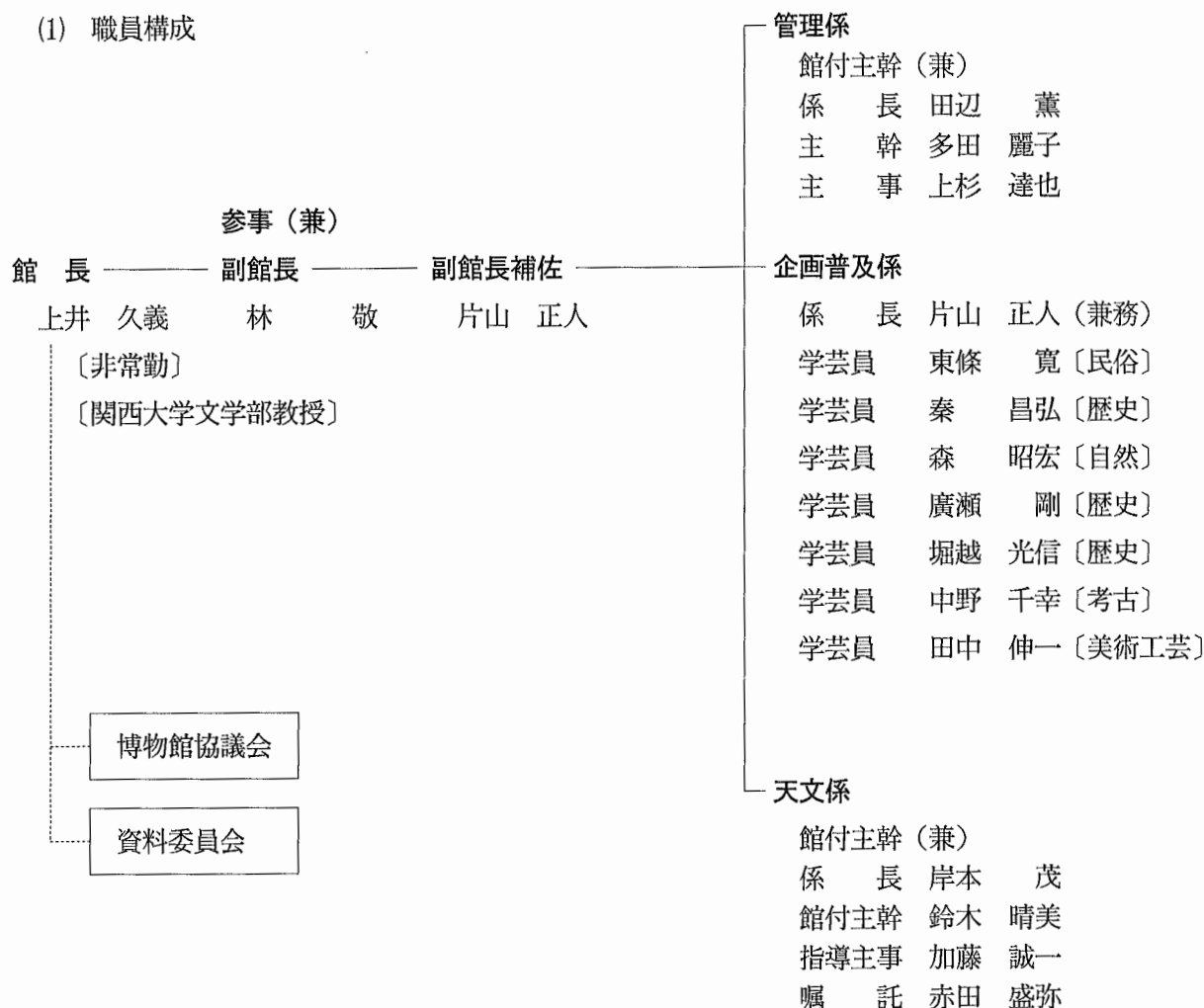


<プラネタリウムポスター>

II. 管理・運営

1. 組織（平成7年3月末現在）

(1) 職員構成



(2) 事務分掌

〔管理係〕

- ① 博物館事業の調整及び運営に関すること。
- ② 調査、統計及び報告に関すること。
- ③ 博物館協議会に関すること。
- ④ 施設の維持管理及び館内の秩序維持に関すること。
- ⑤ 観覧券の発売及び入館者の受付、案内等に関すること。
- ⑥ 館の庶務に関すること。

〔天文係〕

- ① プラネタリウムの映写及び天体観測に関すること。
- ② 天文知識の普及及び啓蒙に関すること。
- ③ 天文資料の収集、保管、展示及び調査研究に関すること。

〔企画普及係〕

- ① 特別展示の企画及び開催に関すること。
- ② 常設展示及び特別展示の利用者への説明、指導等に関すること。
- ③ 博物館資料の収集、保管、展示、貸出し及び利用に関すること。
- ④ 博物館資料の調査研究及び報告書の刊行頒布等に関すること。
- ⑤ 講演会、講習会、研究会等の開催に関すること。
- ⑥ 博物館資料の購入、受贈及び受託に関すること。
- ⑦ 博物館の広報に関すること。

2. 予 算 (平成6年度)

〔歳 入〕

(単位: 千円)

科 目			当初予算額
使用料及び手数料	博物館使用料	博物館観覧料	41,478
使用料		プラネタリウム観覧料	20,888
教育使用料		講座室使用料	103
社会教育使用料		特殊器具使用料	4
財産収入	市史等売払収入		3,400
財産売払収入			
物品売払収入			
物品売払収入			
計			65,873

〔歳 出〕

(単位: 千円)

科目	予算額	管理運営	調査研究	展示開催	資料収集	教育普及	プラネ運営
報 酬	393	393					
賃 金	6,770	2,867	170	925	2,808		
報 償 費	9,549		208	5,716	1,300	1,000	1,325
旅 費	3,113	197	820	1,905	176		15
需 用 費	80,628	50,949	1,970	20,905	939	1,440	4,425
役 務 費	8,457	1,455		6,970	32		
委 託 料	211,816	103,404	720	73,104	3,688		30,900
使用料及び賃借料	36,337	2,914		80			33,343
備 品 購 入 費	30,000				30,000		
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	6,733	79	78	6,576			
計	393,796	162,258	3,966	116,181	38,943	2,440	70,008

3. 博物館協議会

四日市市立博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、博物館法及び四日市市立博物館条例の規定に基づき、平成5年6月1日付けで委員17名（定数20人）を委嘱（任期2年）して設置したが、新年度を迎えその選出機関の役職等の移動に伴い、前任者の残任期間を新たに委嘱し変更した。

なお、平成6年度は2回開催された。

●第1回協議会

開催日 平成6年11月22日(火)
場 所 博物館講座室 13:30～
議 題 (1) 新委員紹介・委嘱状交付
(2) 副委員長選出
(3) 6年度事業実施状況
(4) 7年度事業計画

●第2回協議会（県外視察研修会）

開催日 平成7年2月22日(水)
場 所 博物館講座室 9:30～18:00
議 題 (1) 7年度事業計画
(2) 県外視察研修会として奈良県立
橿原考古学研究所及び同附属博
物館の展示・施設を見学

〔四日市市立博物館協議会委員〕

◎委員長 ○副委員長 （順不同・敬称略）

平成7年3月末現在

区分	職 名	氏 名
学校教育関係 5名	四日市市小学校長会会長（富田小学校校長）	宇河 英崇
	四日市市中学校長会会長（大池中学校校長）	服部 明也
	四日市市公立幼稚園長会会長（納屋幼稚園園長）	渡辺 貞子
	三重県北勢地区高等学校代表（四日市高等学校校長）	城 秀一
	私立学校代表（暁小学校校長）	渡邊 隆平
社会教育関係 4名	四日市市PTA連絡協議会会長（富田中学校PTA）	佐藤 敏明
	四日市市婦人会連絡協議会代表	服部ます子
	四日市市子供会育成者連絡協議会代表（指導部長）	須藤 啓一
	四日市市自治会連合会副会長（理事：東部ブロック代表）	○館 増男
学識経験者 8名	四日市市文化財保護審議会代表（副会長）	石田 昇三
	四日市市議会代表（教育民生委員会）	橋本 茂
	報道機関（市政記者クラブ）代表（毎日新聞四日市支局長）	坂東 伸二
	四日市商工会議所（社会文化委員会委員長）	熊澤 真清
	暁学園短期大学助教授（中世史）	播磨 良紀
	三重県立津高等学校教諭（天文）	鈴木 美好
	三重県立博物館館長	富田 靖男
	四日市市文化振興財団理事長	◎朝倉 治彦

4. 利用状況（平成6年4月1日～平成7年3月31日）

(1) 常設展

（上段：月計、下段：累計、単位：人）

月	開館 日数	有 料 入 館 者												無 料 入 館 者								入館者 総計	
		個 人			団 体 (20%割引)			減免 (50%割引)			減 (50% 割引)の団体			有料 入館者計	小中学校		幼稚園 保育園		その他 団体		招待 券等		無料 入館者計
		一般	高 大	小 中	一般	高 大	小 中	一般	高 大	小 中	一般	高 大	小 中		校	人数	校	人数	校	人数			
4	26	2,017	157	790	74	0	0	21	0	2	0	0	0	3,061	2	201	0	0	1	53	138	392	3,453
5	28	4,967	319	1,873	107	0	108	43	0	4	8	0	0	7,429	2	168	1	85	0	0	727	980	8,409
	54	6,984	476	2,663	181	0	108	64	0	6	8	0	0	10,490	4	369	1	85	1	53	865	1,372	11,862
6	25	1,562	79	323	122	0	111	30	0	0	62	0	0	2,289	3	255	0	0	1	15	62	332	2,621
	79	8,546	555	2,986	303	0	219	94	0	6	70	0	0	12,779	7	624	1	85	2	68	927	1,704	14,483
7	27	1,174	92	366	209	0	94	16	0	0	0	0	0	1,951	3	210	2	67	1	42	104	423	2,374
	106	9,720	647	3,352	512	0	313	110	0	6	70	0	0	14,730	10	834	3	152	3	110	1,031	2,217	16,867
8	26	2,579	290	1,293	116	1	173	19	2	3	0	0	0	4,476	1	22	0	0	2	39	214	275	4,751
	132	12,299	937	4,645	628	1	486	129	2	9	70	0	0	19,206	11	856	6	152	5	149	1,245	2,402	21,608
9	26	2,467	169	274	95	0	0	19	4	0	35	0	0	3,063	2	191	0	0	0	0	491	682	3,745
	158	14,766	1,106	4,919	723	1	486	148	6	9	10	0	0	22,269	13	1,047	3	152	5	149	1,736	3,084	25,353
10	27	1,226	66	147	121	0	249	14	0	0	60	0	1	1,884	9	700	4	217	3	28	233	1,178	3,062
	185	15,992	1,172	5,066	844	1	735	162	6	9	16	0	1	24,153	22	1,747	7	369	8	177	1,969	4,262	28,415
11	25	2,790	145	216	254	56	53	17	0	0	11	0	0	3,542	7	441	0	0	4	72	921	1,434	4,976
	210	18,782	1,317	5,282	1,098	57	788	179	6	9	17	0	1	27,695	29	2,188	7	369	12	249	2,890	5,696	33,391
12	24	396	31	110	62	0	0	29	0	12	0	0	0	640	2	249	0	0	0	0	35	284	924
	234	19,178	1,348	5,392	1,160	57	788	208	6	21	17	0	1	28,335	31	2,437	7	369	12	249	2,925	5,980	34,315
1	25	572	31	156	44	108	19	2	0	1	0	0	0	933	0	0	1	47	0	0	45	92	1,025
	259	19,750	1,379	5,548	1,204	165	807	210	6	22	17	0	1	29,268	31	2,437	8	416	12	249	2,970	6,072	35,340
2	24	761	66	89	54	0	0	5	0	1	0	0	0	976	4	253	2	47	1	330	262	892	1,868
	283	20,511	1,445	5,637	1,258	165	807	215	6	23	17	0	1	30,244	35	2,690	10	463	13	579	3,232	6,964	37,208
3	26	802	60	174	4	0	66	2	0	0	0	0	0	1,108	2	111	4	137	0	0	317	565	1,673
合計	309	21,313	1,505	5,811	1,262	165	873	217	6	23	17	0	1	31,352	37	2,801	14	600	13	579	3,549	7,529	38,881

(2) 特 別 展

(上段：月計. 下段：累計. 単位：人)

月	開館 日数	有 料 入 館 者												無 料 入 館 者									入館者 総計
		個 人			団 体 (20%割引)			減免 (50%割引)			減 免 (50% 割引の団体)			有料 入館者計	小中学校		幼稚園 保育園		その他 団 体		招待 券等	無料 入館者計	
		一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般	高大	小中		校	人数	校	人数	校	人数			
①	49	7,561	506	2,550	121	0	309	67	1	5	35	0	0	11,155	5	493	1	89	2	57	1,094	1,733	12,888
②	28	1,882	189	881	39	0	105	19	0	4	0	0	0	3,119	2	28	0	0	2	65	399	492	3,611
	77	9,443	695	3,431	160	0	414	86	1	9	35	0	0	14,274	7	521	1	89	4	122	1,493	2,225	16,499
③	30	3,695	197	250	49	0	0	19	0	0	63	0	0	4,273	1	56	0	0	0	0	1,053	1,109	5,382
	107	13,138	829	3,681	209	0	414	105	1	9	98	0	0	18,547	8	577	1	89	4	122	2,546	3,334	21,881
④	32	4,218	199	161	269	23	23	27	0	0	22	0	0	4,952	4	250	0	0	2	36	1,518	1,804	6,756
	139	17,366	1,091	3,842	478	23	437	132	1	9	12	0	0	23,499	12	827	1	89	6	158	4,064	5,138	28,637
⑤	25	1,236	94	147	—	—	—	5	0	0	—	—	—	1,482	—	—	—	—	—	—	157	157	1,637
	164	18,602	1,185	3,989	—	—	—	137	1	90	—	—	—	24,981	—	—	—	—	—	—	4,221	5,295	30,276
⑥	34	1,353	103	103	22	0	0	6	0	0	0	0	0	1,587	1	176	0	0	1	330	840	1,346	2,933
計	198	19,955	1,288	4,092	500	23	437	143	1	9	12	0	0	26,568	13	1,003	1	89	7	488	5,061	6,641	33,209

①企画展Ⅰ「大地の贈りもの」4/21～6/14（49日間）

②企画展Ⅱ「かたちのミュージアム」7/16～8/16（28日間）

③企画展Ⅲ「アメリカ人が見た浮世」9/1～10/4（30日間）

④特別展 「姿をあらわした神々」 10/22～11/27 （32日間）

⑤共催展 「ゴッホと忠臣蔵浮世絵展」12/15～1/17（25日間）

⑥企画展Ⅳ「紅とおしろい」2/11～3/21（34日間）

(3) プラネタリウム

(上段：月計、下段：累計、単位：人)

月	開館 日数	有 料 入 館 者												無 料 入 館 者										入館者 総計
		個 人			団 体 (20%割引)			減免 (50%割引)			減 額 (50% 割の団体)			有料 入館 者計	小中学校		幼稚園 保育園		その他 団 体		招待 券等	無料 入館者 計		
		一般	高 大	小 中	一般	高 大	小 中	一般	高 大	小 中	一般	高 大	小 中		校	人 数	校	人 数	校	人 数				
4	88	1,572	291	749	36	0	130	5	0	2	0	0	0	2,785	1	95	0	0	1	51	275	421	3,206	
5	98	2,313	313	913	80	0	237	2	0	0	0	0	0	3,858	4	330	1	85	1	4	486	905	4,763	
	186	3,885	604	1,662	116	0	367	7	0	2	0	0	0	6,643	5	425	1	85	2	55	761	1,326	7,969	
6	71	1,291	169	343	62	0	152	6	0	0	44	0	0	2,067	3	315	4	230	2	58	113	716	2,783	
	257	5,176	773	2,005	178	0	519	13	0	2	44	0	0	8,710	8	740	5	315	4	113	874	2,042	10,752	
7	101	1,924	279	726	32	0	115	1	0	0	0	0	0	3,077	4	298	17	909	1	42	374	1,623	4,700	
	358	7,100	1,052	2,731	210	0	634	14	0	2	44	0	0	11,787	12	1,038	22	1,224	5	115	1,248	3,665	15,452	
8	108	3,569	502	2,032	36	1	120	14	0	5	0	0	0	6,279	0	0	0	0	5	159	962	1,121	7,400	
	466	10,669	1,554	4,763	246	1	754	28	0	7	44	0	0	18,066	12	1,038	22	1,224	10	314	2,210	4,786	22,852	
9	75	1,211	245	359	3	0	52	8	0	0	29	0	0	1,907	2	277	1	96	0	0	365	738	2,645	
	541	11,880	1,799	5,122	249	1	806	36	0	7	73	0	0	19,973	14	1,315	23	1,320	10	314	2,575	5,524	25,497	
10	101	1,104	191	334	62	0	171	6	0	1	36	0	88	1,993	3	431	6	309	0	0	327	1,067	3,060	
	642	12,984	1,990	5,456	311	1	977	42	0	8	10	0	88	21,966	17	1,746	29	1,629	10	314	2,902	6,591	28,557	
11	85	1,072	160	444	33	33	53	6	0	0	11	0	0	1,812	7	632	5	261	3	65	152	1,110	2,922	
	727	14,056	2,150	5,900	344	34	1,030	48	0	8	12	0	88	23,778	24	2,378	34	1,890	13	379	3,054	7,701	31,479	
12	64	631	176	166	85	0	93	6	0	0	0	0	0	1,157	2	249	0	0	0	0	130	379	1,536	
	791	14,687	2,326	6,066	429	34	1,123	54	0	8	12	0	88	24,935	26	2,627	34	1,890	13	379	3,184	8,080	33,015	
1	85	985	169	350	27	0	166	8	0	1	0	0	0	1,706	0	0	2	88	0	0	361	449	2,155	
	876	15,672	2,495	6,416	456	34	1,289	62	0	9	12	0	88	26,641	26	2,627	36	1,978	13	379	3,545	8,529	35,170	
2	84	761	144	215	4	0	1	0	0	0	0	0	0	1,125	3	240	3	104	1	330	158	832	1,957	
	960	16,433	2,639	6,631	460	34	1,290	62	0	9	12	0	88	27,766	29	2,867	39	2,082	14	709	3,703	9,361	37,127	
3	85	775	154	285	9	0	113	2	0	0	0	0	0	1,338	1	8	5	166	0	0	327	501	1,839	
計	1,045	17,208	2,793	6,916	469	34	1,403	64	0	9	12	0	88	29,104	30	2,875	44	2,248	14	709	4,030	9,862	38,966	

5. 関係法規

四日市市立博物館条例

制定 平成5年3月30日 条例第16号

(趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2及び博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第18条の規定に基づき、博物館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 本市は、自然科学及び人文科学に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の利用に供するとともに、プラネタリウムによる天体運行等の映写を行い、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、四日市市立博物館（以下「博物館」という。）を四日市市安島一丁目3番16号に設置する。

(事業)

第3条 博物館は、前条の設置目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 歴史、考古、民俗、美術工芸、天文等に関する実物、複製、複製、模型、図書、図表、写真、フィルム、レコード等の資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及び利用に供すること。
- (2) 博物館資料の利用者に対する説明、助言及び指導に関すること。
- (3) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究に関すること。
- (4) 博物館資料の保管、展示等に関する技術的研究に関すること。
- (5) 博物館資料に関する解説書、目録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (6) 博物館資料に関する講演会、研究会等を開催すること。
- (7) 他の博物館、図書館、学校その他関係機関との連絡及び協力に関すること。
- (8) プラネタリウムによる天体運行等の映写及び天体観測の指導に関すること。
- (9) その他必要な事業

(観覧料)

第4条 博物館資料の展示会場へ入場しようとする者及びプラネタリウムの映写を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

- 2 前項に定める観覧料の額は、別表第1に定める額に100分の103を乗じて得た額とする。この場合において、その額に10円未満の端数が生じたときは、これを四捨五入するものとする。
- 3 前項の規定にかかわらず、中学生以下及び心身障害者で、受付において身体障害者手帳、療育手帳又はそれらに代わるものを提示した者の観覧料の額は、別表1に定める額とする。

(特別展示室等の使用)

第5条 四日市市教育委員会（以下「委員会」という。）は、第2条の設置目的に反せず、第3条の事業に支障のない範囲内において、展示発表等のため、博物館の特別展示室及び講座室（以下「特別展示室等」という。）の使用を許可することができる。

- 2 前項の規定により、特別展示室等を使用しようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。
- 3 前項の許可を受けた者は、別表第2に定める使用料を規則で定める期限までに納付しなければならない。
- 4 前項に定める使用料の額は、別表第2に定める額に、100分の103を乗じて得た額とする。この場合において、その額に10円未満の端数が生じたときは、これを四捨五入するものとする。

(特別利用の許可等)

第6条 博物館資料の熱覧、模写、模造、撮影等しようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。

- 2 前項の許可を受けた者は、2,000円の範囲内において規則に定める手数料を納付しなければならない。

(入館等の制限)

第7条 委員会は、次の各号の一に該当すると認めたときは、博物館への入館を拒否し、若しくは退館を命じ、又は第5条第2項及び前条第1項の許可をしない。

- (1) 公安、風俗その他公益を害するおそれがあるとき。
- (2) 施設、附属設備等を損傷するおそれがあるとき。
- (3) その他委員会において管理上支障があると認めたとき。

(観覧料、使用料及び手数料の減免)

第8条 市長は、特に必要があると認めたときは、観覧料、使用料及び手数料を減額又は免除することができる。

(観覧料、使用料及び手数料の還付)

第9条 既納の観覧料、使用料及び手数料は、還付しない。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、その全部又は一部を還付することができる。

(権利の譲渡等の禁止)

第10条 第5条第2項及び第6条第1項の規定により許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、その権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第11条 委員会は、使用者が次の各号の一に該当すると認めたときは、許可の条件を変更し、又は使用若しくは利用を停止し、若しくは許可を取り消すことができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 許可の条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- (4) その他委員会において特に必要があると認めたとき。

(特別の設備等)

第12条 使用者は、既存の設備を変更し、又は特別の設備を使用しようとするときは、あらかじめ委員会の承認を受けなければならない。

(原状回復の義務)

第13条 使用者は、その使用若しくは利用を終了したとき又は第11条の規定により使用若しくは利用を停止され、若しくは許可を取り消されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

- 2 使用者が前項の義務を履行しないときは、委員会においてこれを執行し、使用者からその費用を徴収する。

(損害賠償)

第14条 使用者は、使用若しくは利用中に建物、附属設備等を損傷又は滅失したときは、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、その全部又は一部を免除することができる。

(博物館協議会)

第15条 博物館の運営に関し、館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、法第20条第1項の規定に基づき、博物館に四日市市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会の委員の定数は、20人以内とする。

- 3 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第16条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、委員会が別に規則で定める。

附則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成5年4月1日から施行する。ただし、第3条第1号（博物館資料の展示及び利用に供する部分に限る。）、第2号及び第8号並びに第4条から第14条までの規定は規則で定める日から、次項の規定は平成5年9月1日から施行する。

(四日市市立郷土資料庫条例の廃止)

- 2 四日市市立郷土資料庫条例（昭和45年四日市市条例第38号）は、廃止する。

別表第1（第4条関係）

区 分	博物館常設展示 1人1回につき	プラネタリウム 1人1回につき	博物館特別展示及び プラネタリウム特別番組 1人1回につき
一 般	200円	500円	2,000円の範囲内で 委員会が定める額
高・大学生	150円	350円	
小・中学生	100円	200円	

備考

- (1) 心身障害者で、受付において身体障害者手帳、療育手帳又はそれらに代わるものを提示した者に限り、観覧料は、規定料金の100分の50の額とする。
- (2) 20人以上の団体は、1人1回につき規定料金の100分の80の額とする。

別表第2（第5条関係）

区 分	午 前	午 後	全 日
	午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午前9時から 午後5時まで
特別展示室	—	—	30,000円
講 座 室	8,000円	12,000円	20,000円

四日市市立博物館条例施行規則

制定 平成5年3月31日 教委規則第5号

(趣旨)

第1条 この規則は、四日市市立博物館条例(平成5年四日市市条例第16号。以下「条例」という。)第16条の規定に基づき、条例の施行について必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 四日市市立博物館(以下「博物館」という。)の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、四日市市教育委員会(以下「委員会」という。)が特に必要があると認めたときは、これを変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、委員会が特に必要あると認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 水曜日。ただし、その日が国民の休日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日にあたる場合は、その翌日とする。
- (2) 12月29日から翌年1月3日まで

(観覧の手続)

第4条 博物館資料の展示会場に入場しようとする者及びプラネタリウムの映写を観覧しようとする者は、観覧料の納入の際に観覧券の交付を受け、展示室及びプラネタリウム室の入口においてこれを係員に提示又は提出しなければならない。

(使用許可の申請)

第5条 条例第5条第2項の規定により、特別展示室等の使用の許可を受けようとする者は、四日市市立博物館使用許可申請書(第1号様式。以下「申請書」という。)により委員会に申請しなければならない。

- 2 前項の申請の受付は、使用しようとする日(引き続き2日以上使用しようとする場合は、その最初の日をいう。以下「使用日」という。)の属する月の初日前6月からとする。
- 3 前項の規定にかかわらず、次の各号の一に該当する場合は、前項に定める期間前に受付できるものとする。
 - (1) 四日市市又は委員会が行う事業又は主催する行事に使用するとき。
 - (2) その他委員会が特に必要あると認めたとき。
- 4 第1項に規定する申請書の受付は、午前9時から午後5時までとする。ただし、休館日の受付は行わない。

(使用の許可)

第6条 委員会は、前条第1項の使用許可の申請について適当と認めたときは、使用の許可を決定し、四日市市立博物館使用許可書(第2号様式。以下「許可書」という。)を申請者に交付するものとする。

- 2 博物館の使用について許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、博物館使用の際に、前項の許可書を係員に提示し、指示を受けなければならない。

(使用の変更及び取消し)

第7条 使用者は、許可書に記載された事項を変更し、又は施設の使用を取り消そうとするときは、四日市市立博物館使用変更(取消し)許可申請書(第3号様式)に許可書を添えて委員会に提出しなければならない。

- 2 委員会は、前項の規定により使用の変更又は取消しを許可したときは、四日市市立博物館使用変更(取消し)許可書(第4号様式。以下「変更(取消し)許可書」という。)を申請者に交付するものとする。

(附属設備の名称及び使用料の額)

第8条 博物館の附属設備の使用料の額は、別表第1に定める額に100分の103を乗じて得た額とする。この場合において、その額に10円未満の端数が生じたときは、これを四捨五入するものとする。

(使用料の納付)

第9条 使用者は、使用の許可と同時に使用料を納付しなければならない。

- 2 官公署が使用する場合にあっては、前項の規定にかかわらず、別に納付期間を定めることができるものとする。

(観覧料の減免)

第10条 条例第8条の規定に基づく観覧料の減額又は免除の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 四日市市及び三重郡に所在する学校教育法(昭和22年法律第26号)に規定する小学校、中学校の児童、生徒が学校教育の一環として教職員に引率されて常設展示、プラネタリウムを観覧するとき。10割
- (2) 博物館が開催する特別展示を観覧料を納付して観覧したものが、引き続き常設展示を観覧するとき。10割
- (3) その他委員会が特別の事由があると認めた時。

その都度委員会が定める割合

- 2 前項第1号に定める観覧料の減免を受けようとする者は、四日市市立博物館観覧料減免申請書(第5号様式)に、減免を必要とする理由を記し、委員会に申請しなければならない。

(優待券等)

第11条 委員会が特に必要と認めたときは、優待券、招待券及び特別展示前売観覧券を発行することができる。

(使用料の還付)

第12条 条例第9条ただし書の規定により使用料を還付する場合及び還付の割合については、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 災害等特別の事由により、使用者の責めによらない場合において使用できなかったとき。10割
- (2) 使用者が使用日の前7日以前に使用許可の取消しを申請し、許可されたとき。5割

- 2 使用者が第7条の規定により博物館の使用の変更を許可された場合において、既納の使用料に過納金が生じたときは、これを還付するものとする。

- 3 前2項の規定により使用料の還付を受けようとする者は、四日市市立博物館使用料還付申請書(第6号様式)に第1項第1号の場合にあっては許可書と使用料領収書、第1項第2号及び前項の場合にあっては変更(取消し)許可書と使用料領収書を添えて委員会に申請しなければならない。

- 4 委員会は、前項の申請を受理し、還付を決定したときは、四日市市立博物館使用料還付決定通知書(第7号様式)を申請者に交付するものとする。

(使用者の遵守事項)

第13条 博物館に入館する者、使用者及び条例第6条第1項の規定により許可を受けた者(以下「使用者等」という。)は、条例及びこの規則に定めるもののほか、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 使用を許可されていない施設を使用し、又は立ち入らないこと。

- (2) 所定の場所以外で喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (3) 許可を受けずに張り紙をし、又はくぎ類を打ち、建物その他の物品をき損又は汚損するおそれのある行為をしないこと。
- (4) 騒音を発し、暴力を用いるなど他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (5) その他委員会が定める事項及び係員の指示に従うこと。

(職務上の立入り)

第14条 使用者等は、施設、附属設備等を損傷又は滅失したときは、直ちに理由を付して委員会に届け出なければならない。

(使用後の届出及び点検)

第16条 使用者等は、条例第13条の規定により施設、設備等を原状に復したときは、速やかに委員会に届け出るとともに、その点検を受けなければならない。

(特別利用の許可の申請)

第17条 条例第6条第1項の規定に基づき、特別利用の許可を受けようとするものは、四日市市立博物館資料特別利用許可(減免)申請書(第8号様式)を委員会に提出しなければならない。

2 委員会は特別利用の許可をしたときは、四日市市立博物館資料特別利用許可書(第9号様式)を交付するものとする。

3 四日市市立博物館資料特別利用許可書の交付を受けたものは、直ちに条例第6条第2項に基づく手数料を納付しなければならない。

4 前項に定める手数料の額は、別表第2に定める額に100分の103を乗じて得た額とする。この場合において、その額に10円未満の端数が生じたときは、これを四捨五入するものとする。

第18条 条例第8条の規定に基づく手数料の減額又は免除の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 市、県又は国若しくは他の地方公共団体が行う教育、学術若しくは文化の事業又はこれらの事業の普及の用途に供することを目的とするとき 10割
- (2) 私立の博物館、図書館、学校等が行う教育又は研究の用途に供することを目的とするとき 10割
- (3) 主に学術研究の用途に供することを目的とするとき 10割
- (4) その他委員会が特別の事由があると認めたとき。

その都度委員会が定める割合

2 前項に定める使用料の減免を受けようとする者は、四日市市立博物館資料特別利用(減免)申請書(第8号様式)に、減免を必要とする理由を記し、委員会に申請しなければならない。

(特別利用の制限)

第19条 次の各号の一に該当するときは、特別利用の許可をしない。

- (1) 特別利用によって博物館の資料の保存に影響を及ぼすおそれがあると委員会が認めたとき。
- (2) 現に博物館資料が展示されているとき。
- (3) 寄託された博物館資料で寄託者の同意を得ていないとき。
- (4) 著作権がある博物館資料で著作権者の承諾を得ていないとき。
- (5) その他委員会が特別利用をすることが不適当と認めたとき。

(博物館資料の館外貸出し)

第20条 博物館資料は、次の各号の一に該当するときは、館外への貸出しをしない。ただし、他の博物館、図書館、学校その他委員会が適当と認めたものは、博物館資料の館外貸出しを受けることができる。

- (1) 館外貸出しによって博物館資料の保存に影響を及ぼすおそれがあると委員会が認めたとき。

(2) 現に博物館資料が展示されているとき。

(3) その他委員会が博物館資料の館外貸出しをすることが不適当と認めたとき。

2 前項ただし書きの規定により、博物館資料の館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ四日市市立博物館資料館外貸出許可書(第10号様式)を委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

3 委員会は、博物館資料の館外貸出しを認めた場合は、四日市市立博物館資料館外貸出許可書(第11号様式)を交付するものとする。

4 博物館資料の館外貸出しの期間は、1月以内とする。ただし、委員会が特に必要があると認めたときは、この限りではない。

(協議会の委員長及び副委員長)

第21条 条例第15条に規定する四日市市立博物館協議会(以下「協議会」という。)に、委員長及び副委員長を置き、それぞれ委員の互選によって選出する。

2 委員長及び副委員長の任期は、委員としての在任期間とする。

3 委員長は、協議会の会務を総理し、協議会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第22条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、定例会及び臨時会とし、定例会は年2回、臨時会は必要に応じて開催する。

2 会議は、委員長が召集し、委員長がその議長となる。

3 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。

4 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第23条 協議会の庶務は博物館において処理する。

(委任)

第24条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成5年4月1日から施行する。ただし、第2条から第20条までの規定は、条例附則ただし書に規定する規則で定める日から、次項の規定は、平成5年9月1日から施行する。

(四日市市立郷土資料庫条例施行規則の廃止)

2 四日市市立郷土資料庫条例施行規則(昭和45年教育委員会規則第5号)は、廃止する。

別表第1(第8条関係)

区 分	使用料(一回一式)
16ミリ映写機	2,000円
スライド映写機	1,000円
プロジェクター	1,000円

別表第2(第17条関係)

区 分	手数料(一点一日)
熟 覧	300円
模 写	1,000円
拓 本	1,000円
撮 影	1,000円

III. 施設概要

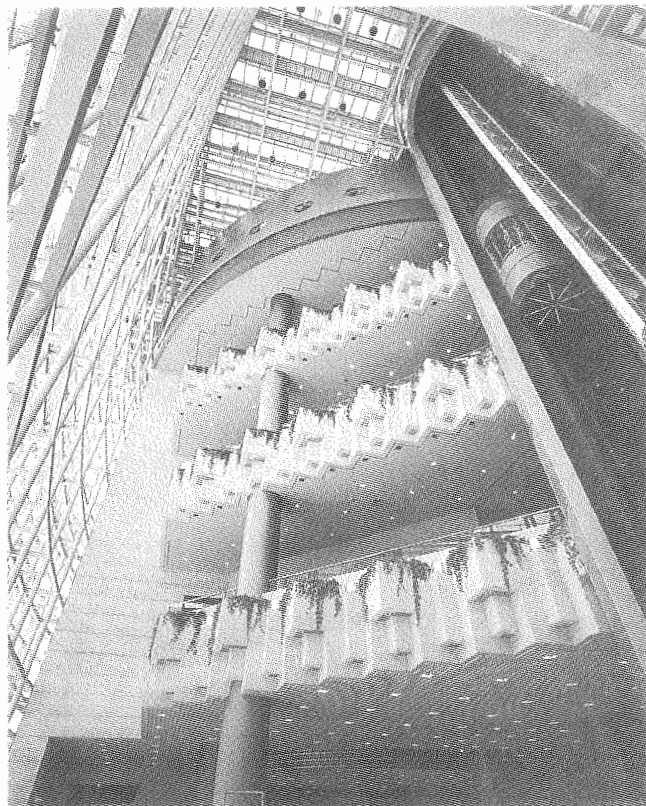
●設計概要

敷地は、旧四日市工業高校跡地の一角で、街区には都市公園を介して地場産業振興センター、アムスクエアがあり、それらとの調和を図る必要があった。そこで、形態的には都市公園を介してオープンなアトリウムで呼応しあう関係を生み出し、色調的にはアムスクエアのグレイッシュピンクと補色関係にあり色の映える淡緑青色を基調としている。

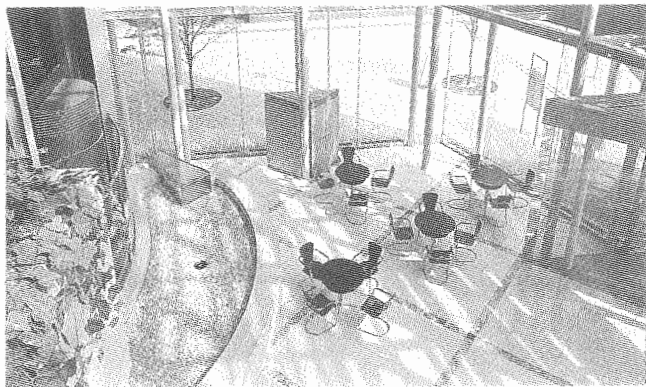
外観デザインとしては、博物館とプラネタリウムという複合した機能を持つ建物の性格上、「過去」（歴史）、「現在」、「未来」（宇宙）の調和をテーマとしている。そのことは、基壇部において花崗岩のジェットバーナー仕上げで歴史の積層をイメージし、胴部において割肌タイルにより工業化が進んだ現代だからこそ逆に求められる手造り的なあたたかさ、やさしさを表現し、頂部においてステンレスの球体を一部露出させ、未来的、宇宙的なイメージを喚起して、それらの三層構成による対比と調和を図っている。また、都市公園に面する東側はボリュームの大きさからくる威圧感を低減するために、面を分節化し、水平線を強調したガラスのカーテンウォール、地上の緑が階段状に延長した濃緑色の石貼部、太陽光線をイメージした黄色の垂直線、コンビナートのメタファーとしての金属のパイプや球体により、リズムカルで変化のある構成としている。

内部機能構成としては、地下部分に収蔵部門、1階にエントランス、2～4階に博物館部門、5、6階にプラネタリウム部門を収め、地上部分に5層吹抜のアトリウムを設けることにより積層化した施設の空間的な一体感を生み出す計画としている。また、都市公園に対してオープンな構成とし、それを借景として利用することで空間的な広がりを持たせている。

(石本建築事務所)



〈アトリウム〉



〈アトリウム見下し〉



〈エントランス照明〉

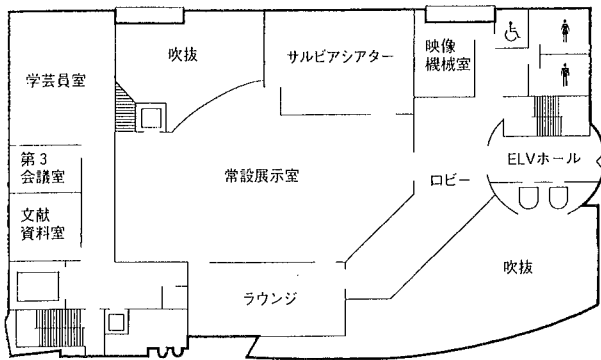
●工事概要

所在地	〒510 三重県四日市市安島一丁目3番16号
	「近鉄四日市駅」下車徒歩5分
電話	0593-55-2700 代表
FAX	0593-55-2704
テレホンサービス	0593-55-2705
施設規模	敷地面積 1,845.840㎡
	建設面積 1,590.397㎡
	延床面積 10,147.108㎡
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
	地下2階地上6階
建物最高の高さ	38.075m
建物イメージ	歴史(石を用い古典的な様式)
	現代(石、土ものの自然素材と
	金属、ガラスなどの組み
	合わせによる新旧共存)
	未来(金属板の仕上げ
	=プラネタリウム)
色彩イメージ	
1F 海	青
2F 大地	橙
3F 草花	黄
4F 山脈	緑
5F 空(宇宙)	シルバーメタリック
地域・地区	商業地域・防火地域
	建蔽率100%(耐火)、容積率600%
主な室名と面積	
●展示・教育部門 2,156.155㎡	
常設展示室	2F 564.691㎡
〃	3F 454.618㎡
特別展示室	4F 594.798㎡
ラウンジ	2~4F 281.02㎡
情報コーナー	1F 118.81㎡
講座室	1F 142.218㎡
●収蔵部門 1,256.230㎡	
収蔵庫①	B2F 243.29㎡
〃 前室	B2F 38.88㎡
収蔵庫②	B1F 282.17㎡(恒温恒湿)
収蔵庫③	B1F 384.496㎡
〃 前室	B1F 76.086㎡
荷解室	1F 231.308㎡
●研究部門 474.802㎡	
学芸員室	3F 105.059㎡
資料整理室	B1F 84.37㎡
文献資料室	3F 37.952㎡
資料評価室	4F 33.30㎡
くん蒸室	B1F 43.07㎡
スタジオ暗室	B1F 87.51㎡
ビデオ編集室	B1F 16.882㎡
会議室②	4F 37.952㎡
会議室③	3F 28.707㎡
●プラネタリウム部門 1,714.282㎡	
客席(ドーム)	5F-6F 565.017㎡
天文学習室	5F 59.081㎡
天文展示コーナー	5F 194.763㎡
プラネタリウム事務室	5F 59.326㎡
空調機械室	5F-6F 836.095㎡
●管理・一般部門 4,545.639㎡	
事務室	2F 60.464㎡
館長室	2F 37.001㎡
会議室①	2F 50.422㎡
ミュージアムショップ	1F 28.723㎡
警備室	1F 20.812㎡
中央監視室	B2F 44.064㎡
設備機械室	B2F 486.19㎡
電気室、発電室	240.152㎡
倉庫、展示備品庫など	3,577.811㎡
プラネタリウム(1,714㎡)	
ドーム径 18.5m 傾斜型(傾斜度20度)	
座席 164席	
GSS ヘリオス(五藤光学研究所製)	
7.4等星 25,000個の恒星が投影可能	
分離型感星投影機	9台

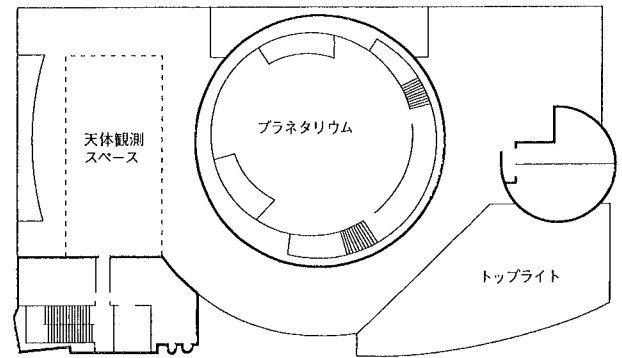
スカイライン投影機(80+80シーン)	
マルチイメージシステム	
マルチサウンドシステム	
全天周映画 可能	
アストロビジョン70(10.パーフォーレーション)	
プラネタリウムとの同期可能(ショートフィルム)	
主な施工業者名	
建 築	㈱鴻池組 三菱建設㈱
	丸藤建設㈱
電 気	㈱電工社 四日市電機㈱
設備機械	須賀工業㈱ ダイダン㈱
	三東工業所
プラネタリウム	㈱五藤光学研究所
建築設計	㈱石本建築事務所
展示設計	㈱ササキ企画
展 示	商工美術㈱
展示映像	中部松下システム㈱
ハイビジョン	中部松下システム㈱
陶 壁	萬古環境造形体
設備概要	
●空調設備	
1. 空調熱源機器設備	
①スクリーン冷凍機	
(冷房能力 293,000Kcal/H(97URST)	
暖房能力 254,000Kcal/H)	2基
②スクリーン冷凍機用(空気熱交換器)	2基
送風機(低騒音型 3,400m³/min)	3台
③蓄熱槽	730m³
2. 空調、換気及び排煙機器設備	
①空調機	
エアーハンドリングユニット	9基
パッケージ型空調機	30基
ファンコイルユニット	20基
全熱交換機	5基
②送、排風機	
シロココファン	2基
軸流ファン	8基
ラインファン	13基
消音ボックス付ラインファン	20基
デリバントファン	1基
排煙ファン	3基
排煙口	25基
3. その他機器	
①フィルターユニット	
外気新鮮空気処理ユニット	3基
②消音マフラーユニット	9基
③その他付属設備	一式
4. 空調配管設備	
①空調用ポンプ	14基
②冷温水2次ポンプ可変速制御盤	1基
③冷水ヘッダー	2基
④温水	2基
⑤冷温水用防触装置	4基
⑥その他付属設備	一式
●給排水衛生設備	
1. 給水設備	
①ポンプ	揚水ポンプ 2基
②受水槽	有効容量 12.7m³
(2分割・複合板)	1基
③高架水槽	有効容量 6.3m³
(2分割・SUS444)保温付	1基
④電機湯沸器	貯湯量 10L 3基
	貯湯量 20L 3基
	壁掛型瞬間湯沸器 2基
⑤ウォータークーラー	
壁埋込式、ステンレス製	
冷水能力 30L/H	2基
⑥その他付属設備	一式
2. 排水設備	
公共下水道接続箇所	
①湧水排水ポンプ	6基
②雑水排水ポンプ	2基
③雨水排水ポンプ	2基
●くん蒸設備(真空殺虫殺菌装置)	3.15m³
●消防設備	
①屋内消火栓ポンプ	1基
②屋内消火栓設備	
屋内消火栓箱	12基
屋内消火栓箱(併設型)	4基
③連結散水設備	閉鎖型(8系統) 一式

④ハロン消火設備 7系統	
(特別展示室、収蔵庫①②③、	
前室、電気室、発電室)	一式
⑤救助袋 3-5階	6台
⑥自動火災報知設備	
差動スポット感知器	6個
定温スポット感知器	14個
煙感知器	384個
炎感知器	4個
⑦非常放送設備	一式
⑧消化器	38本
⑨誘導灯設備	避難口誘導灯 54台
	通路誘導灯 39台
	客席誘導灯 22台
⑩その他付属設備	
●防犯設備	
①防犯設備	熱感センサー 46個
②監視カメラ	1-4階 カラードーム形 16台
	CCD 1台
	モニターテレビ 5台
③防火扉	47箇所
④防火・防災シャッター	32箇所
⑤排煙口	28箇所
●電気設備	
①受電電圧	交流3相3線式 6600V 60Hz
②変圧器	
動力用	
3相6.6KV/210V 300KVA	1台
3相6.6KV/210V 500KVA	1台
3相6.6KV/210V 150KVA	2台
3相6.6KV/440V 500KVA	1台
電灯用	
1相6.6KV/210V/105V 300KVA	2台
1相6.6KV/210V/105V 100KVA	1台
③自家発電機	
6気筒4サイクルディーゼル機関	
480Ps 1200rpm	1台
3相交流同期発電機 400KVA 6600V	1台
④電線路電圧	6600V 440V 210V 105V
⑤電気室	高低圧配電盤 19面
	動力制御盤 15面
	電灯分電盤 21面
	端子盤 12面
⑥低圧回路	
⑦低圧負荷設備	
電動機合計容量	1,123.023KW 130台
電灯コンセント合計容量	476KVA 2,115個
⑧直流電源装置	
100V非常照明用 発電設備機器操作	
用全自動サイリスター式整流器	
(入力 交流3相 200V 60Hz	
直流出力電流 50A 3相全波整流)	1面
蓄電池	ペースト式高率放電用鉛蓄電池
	2V×54セル
⑨交流無停電電源装置	
100V 中央監視装置用	
商用同期常時インバーター給電方式	
(交流入出力 単相2線式 100V 60Hz	
出力容量 5KVA)	1台
⑩電気時計	水晶発信式 6回路
	親時計 1台 子時計 41台
⑪放送設備	防災アンプ 480W 20回路
⑫電話設備	デジタル電子交換機 一式
	多機能電話機 15台
	一般電話機 34台
⑬テレビ共聴設備	CATV引込(CTY)
⑭中央監視設備	SAVIC-NET50による監視システム
●エレベーター	
1,2号 乗用(展望用)	定員17名 1150kg 90m/分
3号 乗用	定員11名 750kg 105m/分
4号 人荷用	定員67名 4400kg 30m/分
5号 乗用	定員11名 750kg 30m/分
●その他設備	
昇降リフト(2トン)	1台
ゴンドラ(ガラス清掃)	2台
自動扉	4箇所

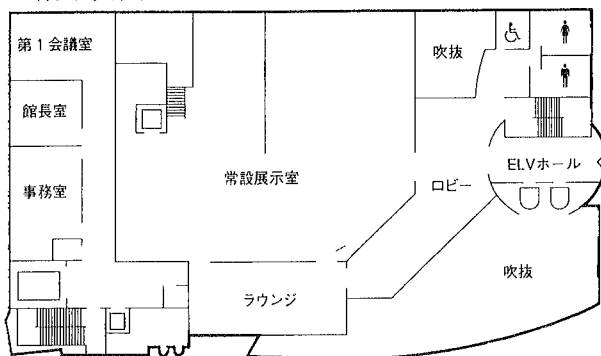
3 階平面図



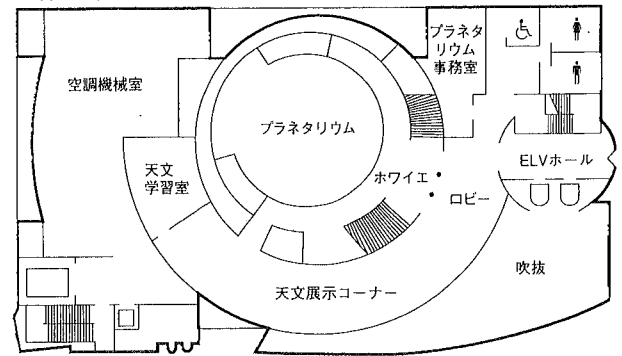
6 階平面図



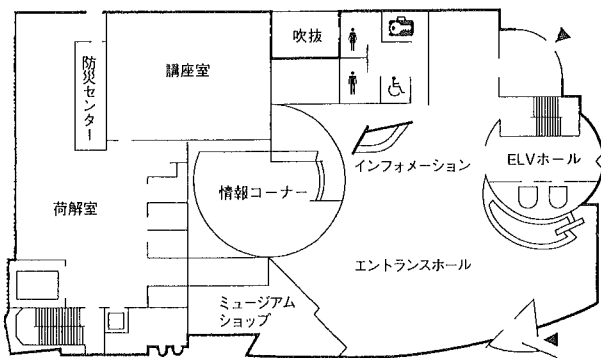
2 階平面図



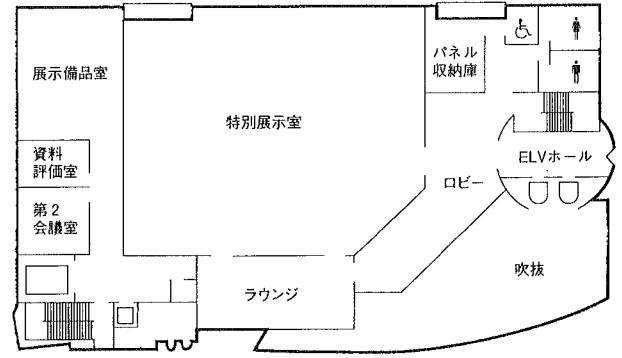
5 階平面図



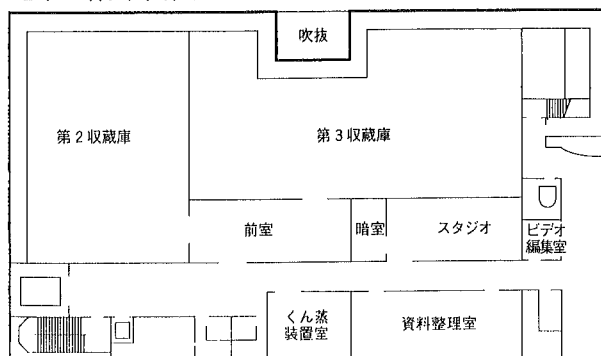
1 階平面図



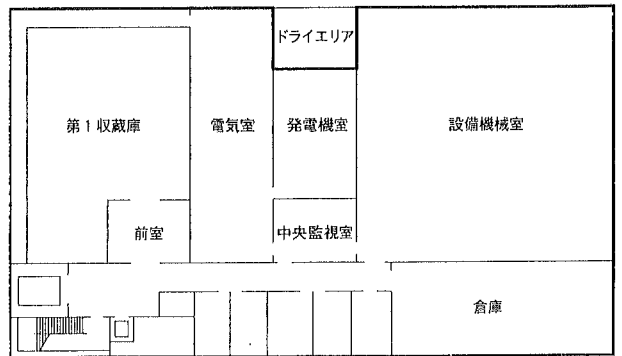
4 階平面図



地下1階平面図



地下2階平面図



IV. 利用案内

●博物館を彩る施設（無料利用できる部分）

□エントランス・ホール（1F）

入口を入ると5Fまで吹き抜けているアトリウムとシースルーエレベーターが目を引く。ここは誰でも入れる自由空間。喫煙コーナーもあり待ち合わせに最適な場所でもある。

□情報コーナー（1F）

4台のLDにより四季にわたり四日市各地に伝わる伝承行事を入館者が自由に観ることができる。また、歴史・自然・美術工芸などの書籍も自由に閲覧でき、ISYによるキャプテン情報検索コーナーも設置。

□ミュージアム・ショップ（1F）

入館の思い出となる記念品や市、博物館が刊行する図録等の書籍を販売。

□陶 壁（2Fロビー）

四日市市の歴史、美術資料の展示効果と現代建築における陶の材質美との調和を図るため、通路を歩く人の動きとともに画面が変化する一種のだまし絵的效果を意図した。

A面：安藤広重作

東海道五十三次「四日市の図」

B面：歌川國貞作「蟹気楼の図」

これらを四日市萬古焼きの伝統技法により焼成。

高さ2.5m 幅5.0m

制作：萬古環境造形体

●開館時間／午前9時～午後5時

（ただし入館は午後4時30分まで）

●休 館 日／水曜日（休日の場合は翌日）

12月29日～1月3日

	常設展示	プラネタリウム
●料 金／一 般	210円	520円
高・大学生	150円	360円
小・中学生	100円	200円

※料金には消費税が含まれています。

●会場内での写真撮影、模写、万年筆、毛筆などの使用はお断りします。

●陳列ケース、展示品には触れないでください。

●館内での喫煙、飲食はご遠慮ください。



※博物館には駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。



V. 博物館日誌抄

- | | |
|--|--|
| <p>6. 4. 1 辞令交付 上井館長着任
 2 開館時間延長（～20:00）
 3 開館時間延長（～19:00）
 4 プラネタリウム 保守点検（～6日）
 5 四日市港管理組合視察
 7 特別展調査（小平市～9日）
 8 副館長訪中（～17日）
 9 プラネタリウム 子供天文教室
 12 企画展「大地の贈りもの」
 バリ氏、ベルモン氏来館
 18 特別展調査（横浜市～19日）
 19 記者発表
 （企画展「大地の贈りもの」）
 20 企画展「大地の贈りもの」
 内覧会
 21 企画展「大地の贈りもの」
 開催（～5.31日）
 22 プラネタリウム 特別投映
 26 企画展調査（東京都他～27日）
 27 三重TV取材（企画展）
 5. 3 プラネトーク（講演会）
 宇宙開発事業団 毛利 衛氏
 常設展示入館者5万人突破
 4 開館日（国民の休日）
 6 移動天文車導入会議
 9 企画展調査（長崎市他～12日）
 10 県文化振興課来館
 （博物館登録現地調査）
 プラネタリウム 天体観望会
 （天候不良により14日へ）
 14 プラネタリウム 天体観望会
 20 プラネタリウム CDコンサート
 24 大蔵省会計実地検査
 特別展調査（熊野市）
 25 プラネタリウム 学校園試写会
 26 亀山市歴史博物館視察
 古文書講座
 27 甲西町教育委員会視察
 資料調査（富田龍泉寺）
 30 川口市教育委員会視察
 資料調査（川越町光照寺）
 特別展調査（京都市他）
 31 企画展「大地の贈りもの」好評に
 付き期間延長（～6.14日）
 6. 1 記者発表（研究紀要発行・企画展
 「大地の贈りもの」期間延長）
 ハイビジョン会議（京都市）
 2 県公安委員会視察</p> | <p>6. 2 国際ミネラル会議（東京都）
 3 瀬戸市視察
 5 四日市自然の会発足総会（楠町）
 6 特別展調査（歴博～7日）
 ハイビジョン会議（千葉市～7日）
 8 特別展調査（川越市～9日）
 8 特別展調査（宗像大社～9日）
 資料調査（愛知県陶磁資料館）
 9 古文書講座
 10 特別展調査（名古屋市他）
 プラネタリウム CDコンサート
 12 プラネタリウム 天文講演会
 13 特別展調査（板橋美術館）
 14 資料調査（志氏神社）
 企画展「大地の贈りもの」最終日
 15 瀬戸市教育委員会視察
 特別展調査（青山町他）
 16 特別展調査（薬師寺）
 資料調査（関西大学）
 17 プラネタリウム 特別投映
 19 博物館講座「まつりの世界」第1回
 20 虫菌害保存対策研修（東京～21日）
 21 移動天文車導入会議
 記者発表（夏休み特集・企画展
 「かたちのミュージアム」）
 プラネタリウム 番組入替え（～27日）
 22 資料調査（明星寺）
 23 古文書講座
 博物館の展示を考える会視察
 24 貸館展示「パッチワーク展」開催
 26 博物館講座「まつりの世界」第2回
 28 資料調査（菟上耳利神社）
 奈良県立橿原考古学研究所来館
 プラネタリウム 夏番組投映開始
 29 特別展調査（伊勢神宮）
 30 三重県博物館協会総会（津市）
 7. 2 歴博特定研究会（歴博）
 企画展調査（かながわサイエンスパーク）
 3 博物館講座「まつりの世界」第3回
 4 消防署立入検査
 5 特別展調査（箱根町他）
 羽島市税務課視察
 7 プラネタリウム 生演奏コンサート
 田嶋美希&マリンバアンサンブル
 9 三重大学実習生視察
 11 エントランスホールミニ展示
 「薬師三尊像」（菰野町正眼寺）
 資料委員会打合せ（三重県美術館）
 12 移動天文車導入調査
 （札幌市・釧路市～14日）
 14 文部省会計実地検査
 企画展「かたちのミュージアム」
 内覧会
 県財務課視察
 古文書講座</p> |
|--|--|

7.15	資料委員会打合せ 市同和教育室視察	8.13	ハイビジョン・シアター開催（講座室）
16	企画展「かたちのミュージアム」 開催 記念講演会 日本民芸館館長 柳 宗理氏 プラネタリウム 天体観望会	14	鯨船調査
17	博物館講座「まつりの世界」第4回	15	鯨船調査
18	特別展調査（京都市他）	16	企画展「かたちのミュージアム」 最終日
18	プラネタリウム 保守点検（～20日）	17	記者会見（くじら展図録美術展カタログ コンクール大阪1994最優秀作品賞受賞）
19	移動天文車導入調査（仙台市～20日）	18	県副知事視察
20	三重TV取材（企画展）	19	プラネタリウム 特別投映 企画展調査（西宮市）
21	資料委員会打合せ	20	開館時間延長（～19：00） ハイビジョン・シアター開催（講座室）
22	企画展調査（海山町） 入間市博物館・城陽市視察	23	館内同和問題研修 特別展調査（多度神社）
23	開館時間延長（～19：00） ハイビジョン・シアター開催（講座室） 折鶴講習会 桑名市教育委員会 大塚 由良美氏	24	四日市市少年消防隊視察 先進地視察（宮崎市他～26日） 特別展調査（丹生）
24	博物館講座「まつりの世界」第5回 企画展調査（大阪市他）	25	古文書講座 特別展調査（伊勢市）
25	プラネタリウム 幼児番組投映（～29日）	26	同和問題県民啓発講座（じばさん） 特別展調査（宗像大社）
27	資料委員会開催 特別展調査（京都博） 県内13市戸籍会議会視察	27	開館時間延長（～19：00） ハイビジョン・シアター開催（講座室） 岩国市教育委員会視察 市民センター講座講師派遣（三重地区）
28	古文書講座 プラネタリウム 子供天文教室 東京都市福祉事務所視察	28	動植物の名前を教える会 （四日市自然保護推進委員会主催） 特別展調査（彦根市他）
29	企画展調査（伊勢神宮）	30	記者発表（企画展「アメリカ人が見た浮世」
30	開館時間延長（～19：00） ハイビジョン・シアター開催（講座室）	31	企画展「アメリカ人が見た浮世」 内覧会 津財務事務所長視察 三重県立博物館資料委員会
31	博物館講座「まつりの世界」第6回	9. 1	企画展「アメリカ人が見た浮世」 開催 北勢地区高校校長会（講座室） プラネタリウム 天体観望会 （天候不良により中止） 市民センター講座講師派遣（三重地区）
8. 1	プラネタリウム 入場者5万人目記念品贈呈 折鶴講習会	5	全天周映画連絡協議会（浦和市）
2	資料調査（市内）	6	博物館協議会打合せ （奈良県立橿原考古学研究所）
3	たばこと塩の博物館来館 県人権フェスティバル参加（名張市）	8	古文書講座
4	かめやま美術館来館	9	企画天調査（熱田神宮）
6	開館時間延長（～19：00） ハイビジョン・シアター開催（講座室） プラネタリウム 天体写真撮影講習会 （天候不良により中止） 「大四日市まつり」 ケーブルテレビジョン出演	15	エントランスホールミニ展示 「あかりの文化小史」
8	夏休みこども博物館開設（～12日）	16	プラネタリウム CDコンサート
9	企画展調査（亀山市） プラネタリウム 子供天文教室 エントランスホールミニ展示 「戦争とくらし展」	18	記念講演会 板橋区立美術館 安村 敏信氏
11	古文書講座	19	企画展調査（東京都～20日） プラネタリウム 番組入替え（～24日）
12	移動天文車導入会議 プラネタリウム 天体観望会 （天候不良により中止） 市熟年大学講師派遣（市文化会館）	21	企画展「アメリカ人が見た浮世」 展示替え
13	開館時間延長（～19：00）	22	古文書講座 鯨船調査

9.23	鯨船調査	11.3	薬師寺管主 高田 好胤氏
25	プラネタリウム 秋番組投映開始	4	動く市政教室・県内13市議長会視察
27	移動天文車導入会議	5	市区画整理課視察
28	奈良県立橿原考古学研究所来館 中部通産局視察	6	特別展講座
29	第1回博物館協議会・県外視察研修 (台風26号接近のため延期) 徳山市議会視察	8	プラネタリウム 番組検討委員会
30	亀山市歴史博物館開館記念式典出席 稲沢市文化財講座講師派遣	10	日博協総会(神戸市～11日) 古文書講座
10. 1	暁短大星空教室講師派遣	11	特別展調査(徳川美術館他)
3	資料調査(大阪市)	13	特別展講座
4	特別展調査(小海町他～5日) 東海三県博物館交流研修会 (岐阜市～5日)	14	市定期監査 特別展調査(多度町他)
5	企画展「アメリカ人が見た浮世」 最終日 ハイビジョン会議(東京都～6日) 企画展調査(瀬戸市歴史民族館)	15	川口市教育委員会視察 企画展調査(箱根町)
6	古文書講座 日博協近畿支部総会 (和歌山市～7日)	16	中京TV取材 企画展調査(川越市博他～18日)
7	企画展調査(ポーラ研究所)	17	三国町郷土資料館運営委員会視察 古文書講座 市史編纂会議
8	プラネタリウム 天体写真撮影講習会 (天候不良により中止)	18	三博協移動博物館(尾鷲市～20日) 焼津市歴史民族資料館視察
10	特別展資料搬入(福岡他～13日)	20	特別展講座 亀山市成人大学講座視察
11	特別展資料搬入(京都他～13日)	21	資料調査(上野市)
12	千葉市視察	22	第1回博物館協議会
14	特別展資料燻蒸作業(～16日) 小樽市教育委員会視察 特別展資料搬入(奈良県他)	23	開館日(勤労感謝の日)
15	暁短大星空教室講師派遣 特別展資料搬入(東京他～17日)	24	休館日 資料調査(西尾市)
16	プラネタリウム 天文講演会	25	〃 (神戸市)
17	副館長訪中(～24日)	27	特別展「姿をあらわした神々」 最終日 市赤堀教育集会所視察
18	記者発表(特別展「姿をあらわした神々」)	28	プラネタリウム 保守点検(～30日) 指定文化財展示取扱講習会 (京都国立博物館～12.2日) 県北勢教育事務所視察 くじら展図録表彰式(大阪市)
19	企画展調査(かながわサイエンスパーク)	29	歴博展示プロジェクト委員会(歴博) 記者発表(開館1周年入館状況)
20	古文書講座 県図書館館長会視察 歴博展示プロジェクト委員会(京都～21日)	12. 5	記者発表(企画展「ゴッホと 忠臣蔵浮世絵展」)
21	特別展「姿をあらわした神々」 内覧会・レセプション 県市議会議長会視察	6	天津市・和歌山市立博物館視察
22	特別展「姿をあらわした神々」開催	8	古文書講座
23	特別展シンポジウム(都ホテル) 国民文化祭開催(～30日)	9	兵庫県立博物館視察
24	特別展資料搬入(京都市他) 特別展一部展示替え	10	プラネタリウム 子供天文教室
26	三重TV取材(特別展)	13	館内同和問題研修
27	県収入役会視察 特別展調査(和歌山市他～28日)	14	企画展「ゴッホと忠臣蔵浮世絵展」 内覧会 三博協研修会(上野市他)
29	NHK TV取材(特別展)	15	企画展「ゴッホと忠臣蔵浮世絵展」 開催 エントランスホール人権ポスター展 開催(～27日)
11. 1	プラネタリウム 市民天体写真展(～27日) 可見市教育委員会視察	16	プラネタリウム 番組入替え(～21日) 企画展調査(東京都)
3	開館1周年記念講演会(都ホテル)	17	記念講演会

	京都浮世絵文化の会 斎藤 彰氏	2.18	歴博特定研究調査(野洲町～20日)
19	川越町教育委員会来館	20	佐賀市鑑査委員視察
20	資料調査(京都市)	22	第2回博物館協議会・県外視察研修 奈良県立橿原考古学研究所
21	市文化施設連絡会議(本館)	23	古文書講座 部落解放研究会(津市) 国立歴史民族博物館視察 大分県立博物館視察
22	プラネタリウム 冬番組投映開始	24	部落解放研究会(津市) プラネタリウム 特別投映
23	プラネタリウム 特別投映・高校生天文研修	26	企画展「紅とおしろい」結髪実演 結髪師 林 照乃氏
24	プラネタリウム CDコンサート	27	先進市視察(福岡市他～3.1日) 資料調査(津市)
28	仕事納め	28	山口県立博物館視察 三博協実務研修会(津市)
7.1.4	仕事始め・臨時開館	3.2	県センター博物館用件(津市) 文化財調査(名張市)
12	鈴鹿市教育委員会視察 古文書講座 企画展調査(名古屋市博物館)	3	プラネタリウム CDコンサート
13	プラネタリウム 生演奏コンサート 冬の星座とハープ&フルートのタベ	5	企画展講演会 戸板女子短大講師 高橋 雅夫氏
15	企画展講座	7	苫小牧はまなす財団視察 企画展街頭キャンペーン
17	企画展「ゴッホと忠臣蔵浮世絵展」 最終日 市熟年大学講師派遣(市文化会館)	8	市文化視察連絡会議(本館) 福井県立博物館視察 企画展調査(土岐市・東京都)
18	企画展調査(伊勢市)	9	古文書講座
19	金沢市教育委員会視察	10	入間市博物館視察
21	博物館講座「ほとけの世界」第1回	11	企画展調査(蒲郡市)
22	プラネタリウム 天文講演会	13	ポーラ文化研究所視察
23	三重県近代遺産会議(県庁)	16	岡山県立博物館視察
24	記者発表(企画展「紅とおしろい」)	17	企画展調査(堺市)
25	特別展調査(関西大学)	18	歴博特定研究会(八日市市～20日)
26	東海農政局視察 古文書講座 文化財防火デー・消防署査察 日博協指導者研究協議会美術歴史 部門(徳川美術館)	20	企画展「紅とおしろい」最終日 収蔵庫燻蒸(～24日)
27	資料調査(伊賀町)	23	古文書講座(最終回) 氷見市市史編纂室視察 ハイビジョン会議(東京都～24日)
28	三博協学芸員研修会(本館)	24	記者発表 企画展「ハイチの素朴な絵画展」
30	市民センター講座講師派遣(羽津地区)	26	プラネタリウム 春番組投映開始
2.1	企画展資料搬入(ポーラ研究所他) 歴博特定研究現地調査(野洲町)	28	秋川市教育委員会視察
2	日博協指導者研究協議会庶務部門 (トヨタ産業技術記念館)	29	企画展調査(橿原市他) 文化財調査(上野市) プラネタリウム 番組検討委員会
3	プラネタリウム 天体観望会	30	企画展「ハイチの素朴な絵画展」 開催・テープカット・内覧会
4	博物館講座「ほとけの世界」第2回	31	プラネタリウム 幼児番組投映 企画展調査(堺市) プラネタリウム 幼児番組投映
7	甲種防火管理者講習会(消防本部)		
9	古文書講座 資料調査(名古屋市鶴舞図書館)		
10	企画展「紅とおしろい」内覧会 企画展早朝街頭キャンペーン		
11	企画展「紅とおしろい」開催 プラネタリウム 子供天文教室 高松市視察(ハイビジョン)		
13	日本プラネタリウム研究会 (東京都～15日)		
15	三重TV取材(企画展) 企画展調査(名古屋市)		
16	資料調査(愛知県陶磁資料館)		
17	資料調査(大阪市)		
18	博物館講座「ほとけの世界」第3回 天津市視察		

—— 平成6年度 ——

四日市市立博物館年報 第2号

平成7年7月31日 発行

編集・発行 四日市市立博物館

〒510 四日市市安島一丁目3番16号

TEL 0593-55-2700 (代)

FAX 0593-55-2704

印刷 東海出版有限会社



100年の誇り
100年の夢
新世紀をひらく
四日市